

ViewLight®

ビューライト
モバイル
Mobile

NP64J/NP63J/NP54J/NP53J

取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください



1. 添付品や名称を —● 1
確認する
2. 設置と接続 —● 2
3. 映像を投写する —● 3
(基本操作)
4. 便利な機能 —● 4
5. ビューワを使う —● 5
(NP64J/NP54J)
6. オンスクリーン —● 6
メニュー
7. 本体のお手入れ／ —● 7
ランプの交換
8. 付録 —● 8

はじめに

このたびは、NECデータプロジェクター NP64J/NP63J/NP54J/NP53J（以降「NP64J/NP63J/NP54J/NP53J本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピュータやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本書は、NP64J/NP63J/NP54J/NP53J共通の取扱説明書です。NP64Jを主に説明しています。

本機には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

※ モデル名について

本機に貼付しているラベルでは、モデル名を「NP64」、「NP63」、「NP54」、または「NP53」と表記しています。

取扱説明書では、モデル名を「NP64J」、「NP63J」、「NP54J」、または「NP53J」と末尾に「J」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。 |

絵表示の例

| | |
|---|--|
|  | ▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |
|  | ⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
 - い
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

動作中にレンズの前に物を置かない



- レンズは本機のレンズカバー以外の物で塞がないでください。
動作中にレンズカバー以外の物でレンズを塞いだり光をさえぎったりすると、その物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
詳細は 99 ~ 104 ページをご覧ください。

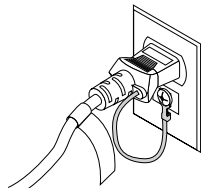
天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

注意

機器のアースは確実にしてください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細は29ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になり、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

注意

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

点検・本体内部の清掃について



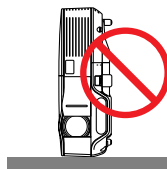
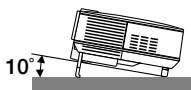
内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0～10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNECプロジェクターカスタマサポートセンターにご相談ください。
 - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。（👉 92 ページ）
- 標高約 1500m 以上の場所では本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・添付のソフトケースに収納して運んでください。
 - ・レンズに傷が付かないように必ずレンズカバーを閉じてください。
 - ・振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
 - ・ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
また、本機を使用しないときは、レンズカバーを閉じておいてください。

- フォーカスセンサ部の汚れはふき取ってください。
フォーカスセンサ部に指紋や汚れが付くと、センサの感度が低下して動作範囲が狭くなったり、フォーカスが合わなくなります。
- 廃棄について
本体の廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本書に記載している指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- 交換用ランプには、冷却ユニットが添付されています。新しいランプに交換する際は、同時に冷却ユニットも新しいものに交換してください。冷却ユニットを交換しないと、本機の冷却能力が低下し故障の原因となります。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部で使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- ランプ点灯後約 1 分間（電源インジケータが緑色で点滅中）は AC 電源を切断しないでください。ランプ交換時間（目安）*が短くなります。
*保証時間ではありません。
- 投写中および電源を切ったあとの冷却ファン回転中に AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。





目次

| | |
|------------------------------------|-----------|
| はじめに | 表紙裏 |
| 本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください… | 3 |
| お願い | 8 |
| 目次 | 10 |
| 本書の表記について | 12 |
| 1. 添付品や名称を確認する | 13 |
| 1-1. 添付品の確認 | 13 |
| 1-2. 特長 | 15 |
| 1-3. 本体各部の名称 | 16 |
| 1-4. リモコン各部の名称 | 20 |
| 2. 設置と接続 | 23 |
| 2-1. 設置と接続の流れ | 23 |
| 2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する | 24 |
| 2-3. コンピュータと接続する | 25 |
| 2-4. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する | 26 |
| 2-5. 書画カメラと接続する | 28 |
| 2-6. 電源コードを接続する | 29 |
| 3. 映像を投写する (基本操作) | 30 |
| 3-1. 映像を投写する流れ | 30 |
| 3-2. 本機の電源を入れる | 31 |
| 3-3. 入力信号を選択する | 33 |
| 3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する | 36 |
| 3-5. フォーカスを手動で調整する | 40 |
| 3-6. 台形歪みを手動で調整する | 41 |
| 3-7. コンピュータの映像を自動調整する | 43 |
| 3-8. 本機の音量を調整する | 44 |
| 3-9. 本機の電源を切る | 45 |
| 3-10. あとかたづけ | 46 |
| 4. 便利な機能 | 47 |
| 4-1. 映像と音声を消去する | 47 |
| 4-2. 動画を静止画にする | 47 |
| 4-3. 映像を拡大する | 48 |
| 4-4. エコモードと省エネ効果 | 49 |
| 4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する | 51 |
| 4-6. 本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う | 54 |

| | |
|--|------------|
| 5. ビューワを使う (NP64J/NP54J) | 56 |
| 5-1. ビューワでできること | 56 |
| 5-2. USB メモリ内の画像を投写する (基本操作) | 59 |
| 5-3. スライド画面の操作 | 63 |
| 5-4. サムネイル画面の操作 | 64 |
| 5-5. Bluetooth®無線技術を使って画像を送信する | 69 |
| 6. オンスクリーンメニュー | 72 |
| 6-1. オンスクリーンメニューの基本操作 | 72 |
| 6-2. オンスクリーンメニュー一覧 | 76 |
| 6-3. 入力端子 | 78 |
| 6-4. 調整 | 79 |
| 6-5. セットアップ | 86 |
| 6-6. 情報 | 95 |
| 6-7. リセット | 96 |
| 7. 本体のお手入れ／ランプの交換 | 97 |
| 7-1. レンズとフォーカスセンサの清掃 | 97 |
| 7-2. キャビネットの清掃 | 98 |
| 7-3. ランプと冷却ユニットの交換 | 99 |
| 8. 付録 | 105 |
| 故障かな?と思ったら | 105 |
| インジケータ表示一覧 | 110 |
| 投写距離とスクリーンサイズ | 112 |
| 対応解像度一覧 | 114 |
| 外観図 | 115 |
| 別売品 | 116 |
| コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名 | 117 |
| 仕様 | 118 |
| トラブルチェックシート | 120 |
| 海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介 | 122 |
| 索引 | 130 |
| 落下保証について (保証と修理サービスの追加事項) | 132 |
| 保証と修理サービス (必ずお読みください) | 133 |
| NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内 | 裏表紙 |

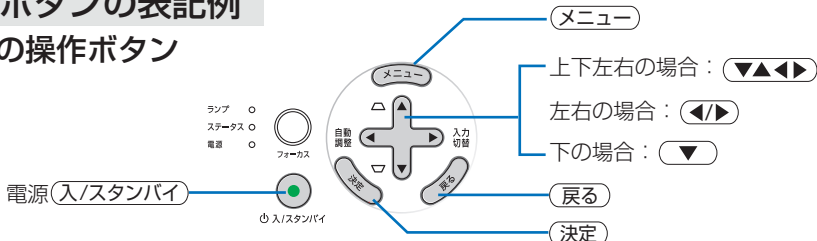
本書の表記について

マークの意味

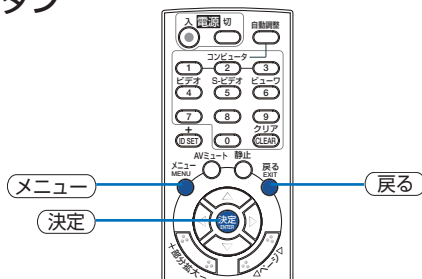
| | |
|---|--|
|  | データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。 |
|  | 注意や制限事項を表しています。 |
|  | 補足説明や役立つ情報を表しています。 |
|  | 本書内の参照ページを表しています。 |

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

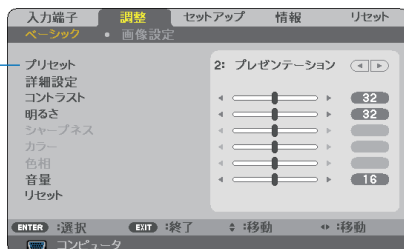


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「プリセット」



参考

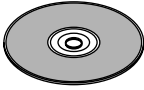
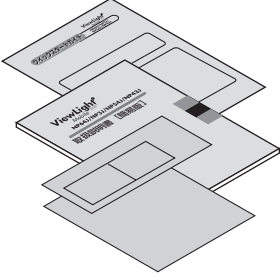
- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

| | |
|---|---|
|  | プロジェクター（本機） コンピュータや DVD プレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。 |
|  | リモコン（7N900891） 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単4乾電池2本をセットしてください。（▶ 22ページ） 単4乾電池（リモコン用）2本 添付のリモコンにセットします。 |
|  | 電源コード（アース付き）（7N080118） AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。 |
|  | コンピュータ接続ケーブル（ミニD-Sub 15ピン）（7N520073） コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。 （▶ 25ページ） |
|  | マウスレシーバ（7N900722） コンピュータのUSBポートに接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作が行えます。（▶ 54ページ） |
|  | ソフトケース（24BS7901） 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。 |

| | |
|---|--|
|  | <p>NEC Projector CD-ROM (7N951462) 取扱説明書[詳細版](本書)がPDF (Portable Document Format)形式で収録されています。</p> |
|  | <p>クイックスタートガイド (7N8N0681) 機器の接続、電源「オン」、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>取扱説明書 [簡易版] (7N8N0672) 安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p>ビューライトクラブ申込書 ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。</p> |

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-2. 特長

● DLP 方式の小型高輝度プロジェクター

DLP 方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。
また、0.3 ワットのモノラルスピーカを内蔵しています。

● スライド式レンズカバー

レンズカバーは、本体と一体化し横方向にスライドして開閉します。
投写中にレンズカバーを閉じると、自動的に AV ミュート状態になります。

● プロジェクター本体やリモコンに日本語表示

プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに日本語表示のリモコンを標準添付して操作性を向上しています。

● カーボンメータ表示

エコモード「オン」時の省エネ効果を CO₂ 排出削減量に換算して、電源を切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します。

● 投写画面のフォーカスを自動的に合わせるオートフォーカス

本機の電源を入れたとき、および投写中に本体を動かしたりズームレバーを動かしたりしたときに、フォーカス調整を自動的に行います。

● 投写画面の台形歪みを自動的に補正

本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

● ダイレクトパワーオフ

投写中および電源を切ったあとの冷却ファンの回転中に AC 電源を切断することができます。
AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

● オートパワーオン／オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入／切する機能があります。

- ・ オートパワーオン (AC) …… 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・ オートパワーオン (COMP) … 本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・ オートパワーオフ …… 設定した時間だけ信号入力がないと、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・ オフタイマー …… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

● プロジェクターのコントロール ID 登録

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクター (コントロール ID 対応機種のみ) ごとに個別の操作を行うことができます。

● 壁色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いに補正することができます (壁色補正機能)。
これにより、スクリーンが設置されていない所でも、見やすい映像を投写することができます。

● USB メモリ内の画像や Bluetooth® 無線技術で送信した画像を投写するビューワを搭載 (NP64J/NP54J)

NP64J/NP54J にはビューワを搭載しています。本機の USB ポートに市販の USB メモリを挿すと USB メモリ内の画像を投写できます。

また、別売の Bluetooth® USB アダプタ (形名 NP01BA) を挿すと、Bluetooth 無線技術を搭載したコンピュータや携帯電話から本機へ画像を送信して投写できます。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

ズームレバー

投写した画面の大きさを微調整します。

(▶ 38 ページ)

レンズカバー

レンズを保護します。
開閉方法は次ページをご覧ください。

レンズ

ここから映像が投写されます。

フォーカスセンサ部

オートフォーカスの距離を計測する部分です。

(▶ 38 ページ)

チルトボタン

チルトボタンを押し上げるとチルトフットを伸縮できます。
本機の投写角度を固定したいところで、チルトボタンから指を離します。

(▶ 37 ページ)

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(▶ 22 ページ)

本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。

(▶ 18 ページ)

排気口

内部の熱を排気します。

チルトフット

投写角度を調整します。チルトボタンを押し上げて上下に伸縮できます。

(▶ 37 ページ)

本体背面

接続端子部

各種映像信号のケーブルを接続します。(▶ 19 ページ)

吸気口


AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。

(▶ 29 ページ)

盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。

詳しくは次ページの  をご覧ください。

スピーカ (モノラル)

音声入力端子 (AUDIO IN) から入力された音声を出力します。

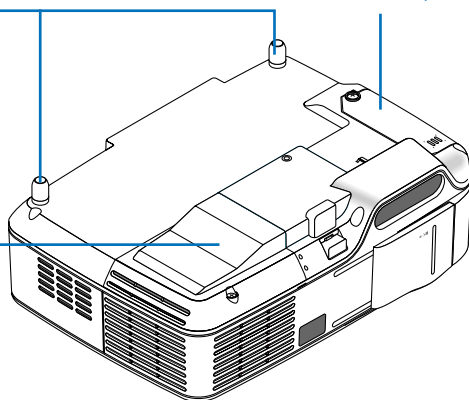
吸気口

本体底面

リアフット
リアフットを回して左右の傾きを調整します。
(☞ 37ページ)

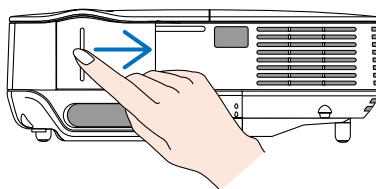
ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。(☞ 100ページ)

冷却ユニット
冷却ユニット交換のとき外します。(☞ 103ページ)

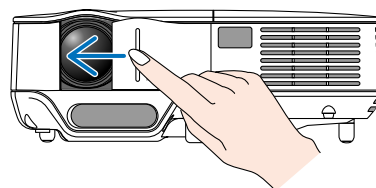


● レンズカバーの開閉方法

開くには、レンズカバーを右へスライドさせます。




閉じるには、左へスライドさせます。



注意

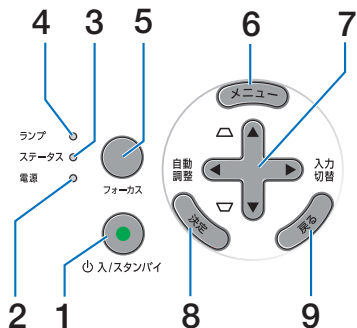
- 本機のレンズカバーの開閉は AV ミュート（画像と音声を消す機能）と連動しています。動作中にレンズカバーを閉じると自動で画像は消えますがランプは点灯しています。この状態のまま約 2 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
- レンズカバーを手前に引っ張ったり上下方向に強い力を加えないでください。レンズカバーのスライド機構が破損するおそれがあります。

参考

- 盗難防止用ロックについて 
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

<http://www.kensington.com/>

本体操作部



1 電源(入/スタンバイ)ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。
電源を入れるときは、約1秒押します。
電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押し、電源オフ確認メッセージを表示してもう一度電源(入/スタンバイ)または(決定)ボタンを押します。

2 電源インジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。
(☞ 31, 110ページ)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき(スタンバイ状態)は緑色に点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。
また、本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(☞ 110ページ)

4 ランプインジケータ

ランプの交換時期がきたことやエコモードの状態(オン/オフ)をお知らせします。
(☞ 111ページ)

5 (フォーカス)ボタン

短く押すと(◀▶)ボタンでフォーカス調整ができます。(☞ 40ページ)
長く押すと、オートフォーカスが働きます。(☞ 38ページ)

6 (メニュー)ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(☞ 72ページ)

7 (◀▶▶▶)ボタン(入力切替ボタン、自動調整ボタン、および台形補正ボタンを兼用)

オンスクリーンメニューを表示しているとき

- ◀▶▶▶ ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
(☞ 72ページ)

オンスクリーンメニューを表示していないとき

- ▶▶▶▶ (入力切替)ボタンでコンピュータ、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ(NP64J/NP54Jのとき)の入力を切り替えます。
(☞ 33ページ)
- ◀▶▶▶ (自動調整)ボタンでコンピュータ信号の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
(☞ 43ページ)
- ◀▶▶▶ ボタンで台形歪みの補正ができます。(☞ 41ページ)
- (部分拡大+/-)ボタンを使った画面拡大の表示位置の調整に使用できます。
(☞ 48ページ)



注意

- NP64J/NP54Jでビューワを表示しているときは、本体の◀▶▶▶ ボタンを押しても信号切り替え、自動調整、および台形補正は働きません。

8 (決定)ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

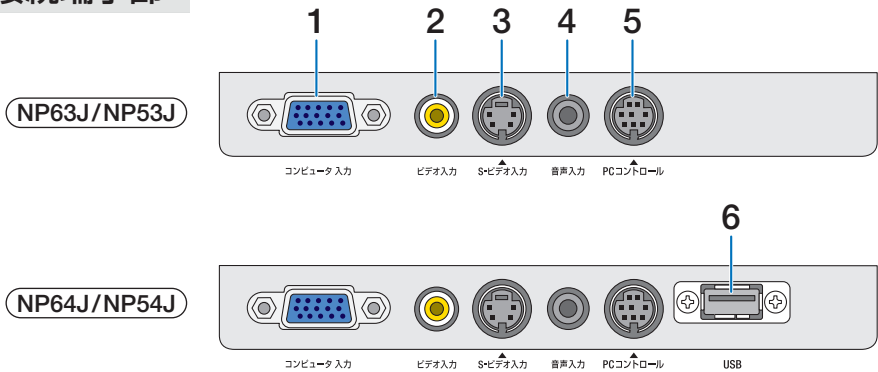
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

9 (戻る)ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 コンピュータ映像入力端子 (ミニD-Sub 15ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。(● 25, 27 ページ)

2 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。(● 26, 28 ページ)

3 S-ビデオ映像入力端子 (ミニDIN-4ピン)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。(● 26, 28 ページ)

4 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピュータやDVDプレーヤの音声出力端子と接続します。
本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

5 PCコントロール端子 (ミニDIN-8ピン)

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

6 USBポート (USBタイプA)

市販のUSBメモリを挿すとビューワを使ってUSBメモリ内の画像を投写できます。

(● 56 ページ)

また、別売のBluetooth® USBアダプタ(形名 NP01BA)を挿すと、Bluetooth無線技術を搭載したコンピュータや携帯電話から本機へ画像を送信し投写できます。

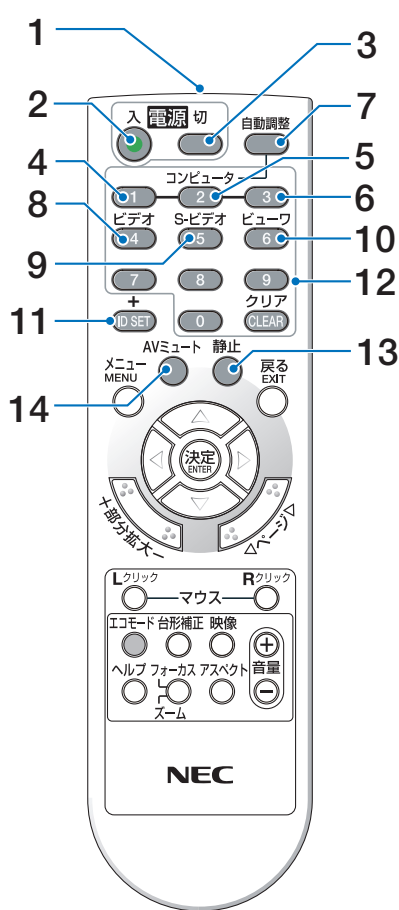
(● 69 ページ)

(注) NP63J/NP53JにUSBポートはありません。

1

添付品や名称を確認する

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源(入) ボタン

スタンバイ時に約1秒押し、本機の電源を入れます。

3 電源(切) ボタン

一度押し、電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(切)(または(決定))ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

4 (コンピュータ1) ボタン

コンピュータ入力(またはコンポーネント)を選択します。

5 (コンピュータ2) ボタン

(本機では使用できません)

6 (コンピュータ3) ボタン

(本機では使用できません)

7 (自動調整) ボタン

投写しているコンピュータ信号の画像を最適な状態に自動調整します。(▶ 43ページ)

8 (ビデオ) ボタン

ビデオ入力を選択します。

9 (S-ビデオ) ボタン

S-ビデオ入力を選択します。

10 (ビューワ) ボタン

NP64J/NP54Jではビューワを起動します。(注) NP63J/NP53Jではビューワは使用できません。

11 (ID SET) ボタン

複数台の 프로젝ターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロールID設定に使用します。(▶ 90ページ)

12 数字(0)～(9)入力ボタン

複数 프로젝ターを本機のリモコンで個別に操作する場合のID入力に使用します(コントロールID設定)。

(CLEAR(クリア))ボタンはコントロールID設定を解除する場合に使用します。

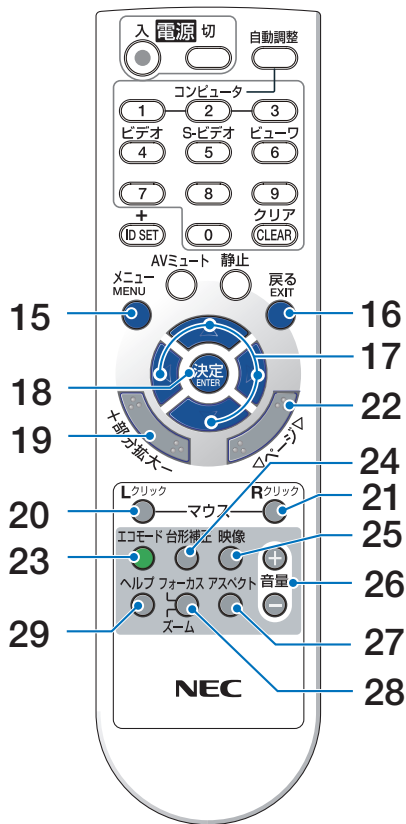
(▶ 91ページ)

13 (静止) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押しと戻ります。(▶ 47ページ)

14 (AVミュート) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押しと戻ります。



15 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

16 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

17 (◀▶▶▶) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。また、添付のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときは、コンピュータのマウスとして動作します。
(▶ 72, 48, 55 ページ)

18 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

19 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。

20 (マウスLクリック) ボタン

添付のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使います。(▶ 55 ページ)
マウスの左ボタンの動作をします。

21 (マウスRクリック) ボタン

添付のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使います。(▶ 55 ページ)
マウスの右ボタンの動作をします。

22 (ページ</>) ボタン

添付のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使います。コンピュータ画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどの操作が行えます。(▶ 55 ページ)

23 (エコモード) ボタン

エコモード設定画面を表示します。
(▶ 49 ページ)

24 (台形補正) ボタン

台形補正調整画面を表示します。
(▶ 41 ページ)

25 (映像) ボタン

ボタンを押すたびに、オンスクリーンメニューの調整→ベーシックにあるプリセット、コントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色相の調整項目を順に表示します。
(▶ 79, 81 ページ)

26 (音量 +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。
(▶ 44 ページ)

27 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。
(▶ 83 ページ)

28 (フォーカス/ズーム) ボタン

短く押しと(▶▶)ボタンでフォーカス調整ができます。(▶ 40 ページ)
長く押しと、オートフォーカスが働きます。
(▶ 38 ページ)
(注)ズームは本機では使用できません。

29 (ヘルプ) ボタン

情報画面を表示します。(▶ 95 ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押しのまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

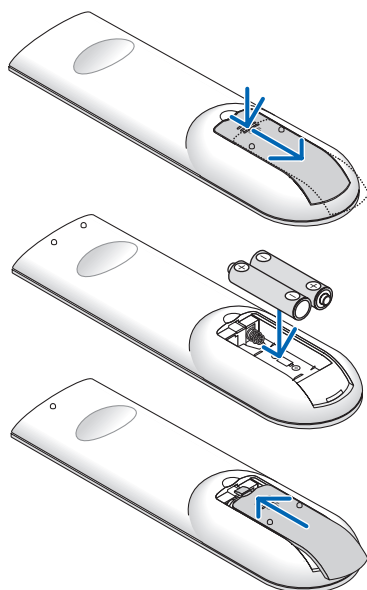
2 ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単 4 乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせてしめてください。

注意

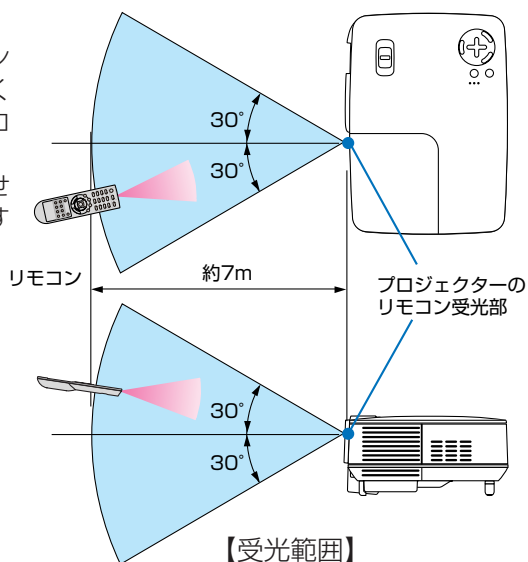
- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 4 乾電池をお買い求めください。



●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

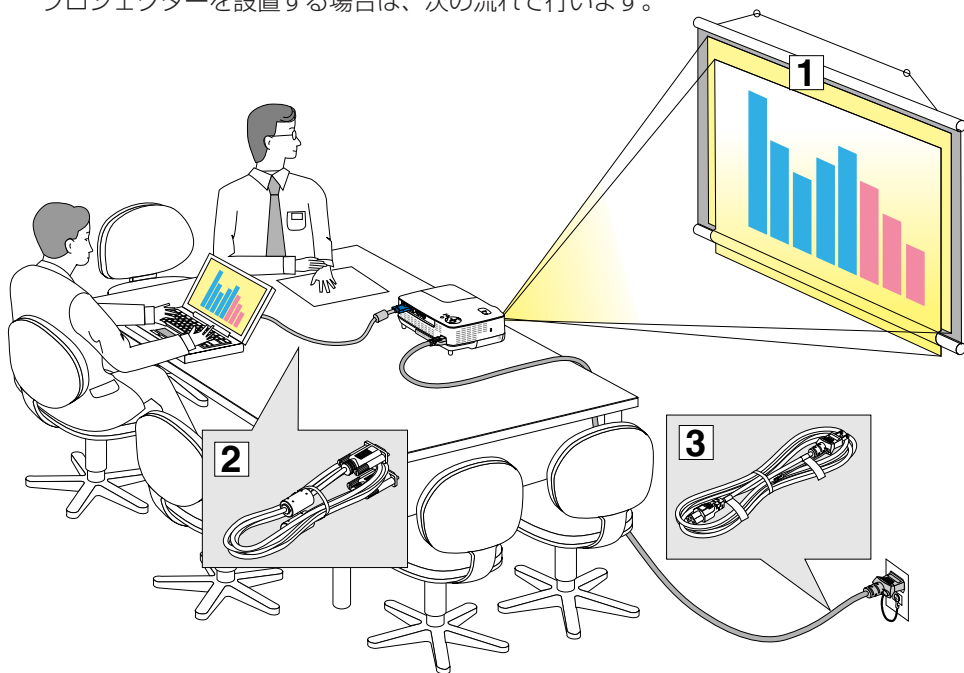
●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があったりして信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落したり、誤った取り扱いはいしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のない所で使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

2. 設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する (▶ 24 ページ)

ステップ 2

コンピュータや DVD プレーヤなどをプロジェクターに接続する

- コンピュータと接続する場合 (▶ 25 ページ)
- DVD プレーヤやビデオデッキなどの AV 機器と接続する場合 (▶ 26, 27 ページ)
- 書画カメラと接続する場合 (▶ 28 ページ)

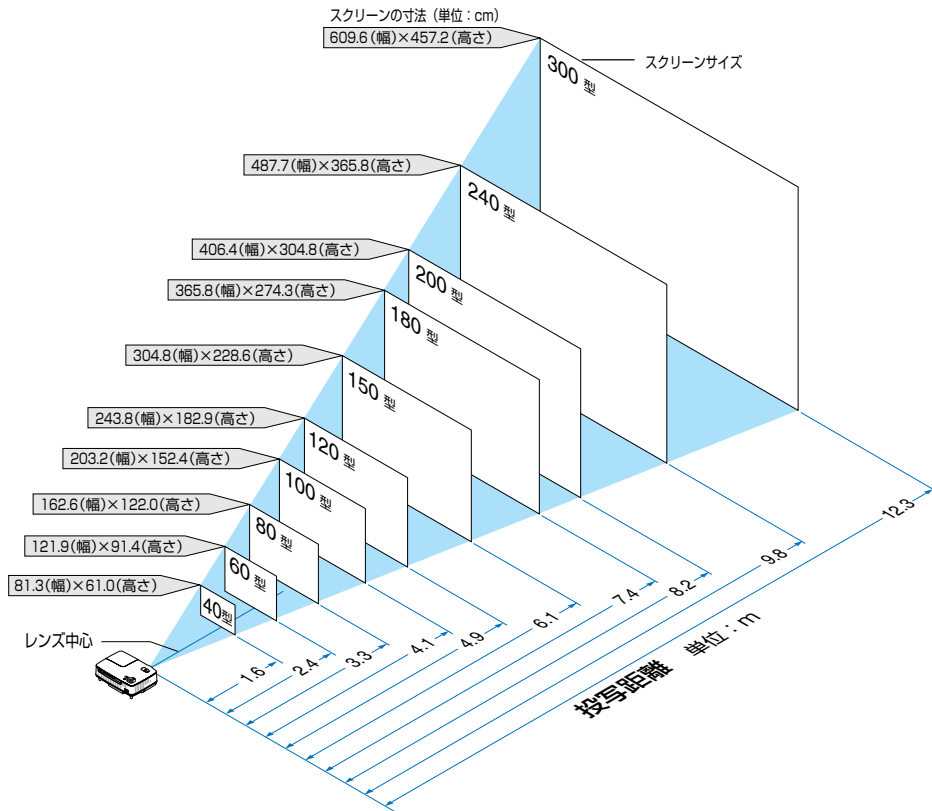
ステップ 3

電源コードを接続する (▶ 29 ページ)

2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクターを設置してください。プロジェクターのレンズ面をスクリーンの中心にまっすぐ向けてください。

例1：100型のスクリーンに投写する場合は、下図より4m離して設置します。
例2：スクリーンから6m離してプロジェクターを設置すると、下図より約150型の画面となります。

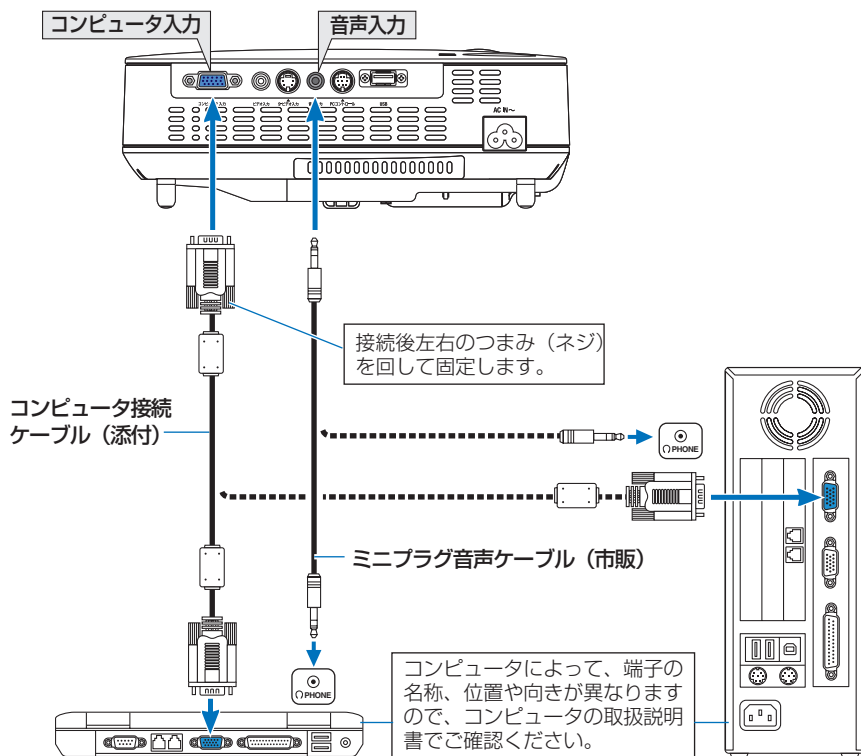


参考

- この図のスクリーン寸法は、ズームレバーのテレ(投写面積が最小)側とワイド(投写面積が最大)側との間の値です。
ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約±10%の範囲で変更することができます。
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。(▶ 112, 113ページ)
- 本体を動かしたり、ズームレバーを動かすと、オートフォーカスが働きます。(▶ 38ページ)
また上下方向へ角度を変えると、台形歪みを自動的に補正します。(▶ 39ページ)

2-3. コンピュータと接続する

コンピュータ側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ映像入力端子を、添付のコンピュータ接続ケーブルで接続します。



注意

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット (形名 ISS-6020J) のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

参考

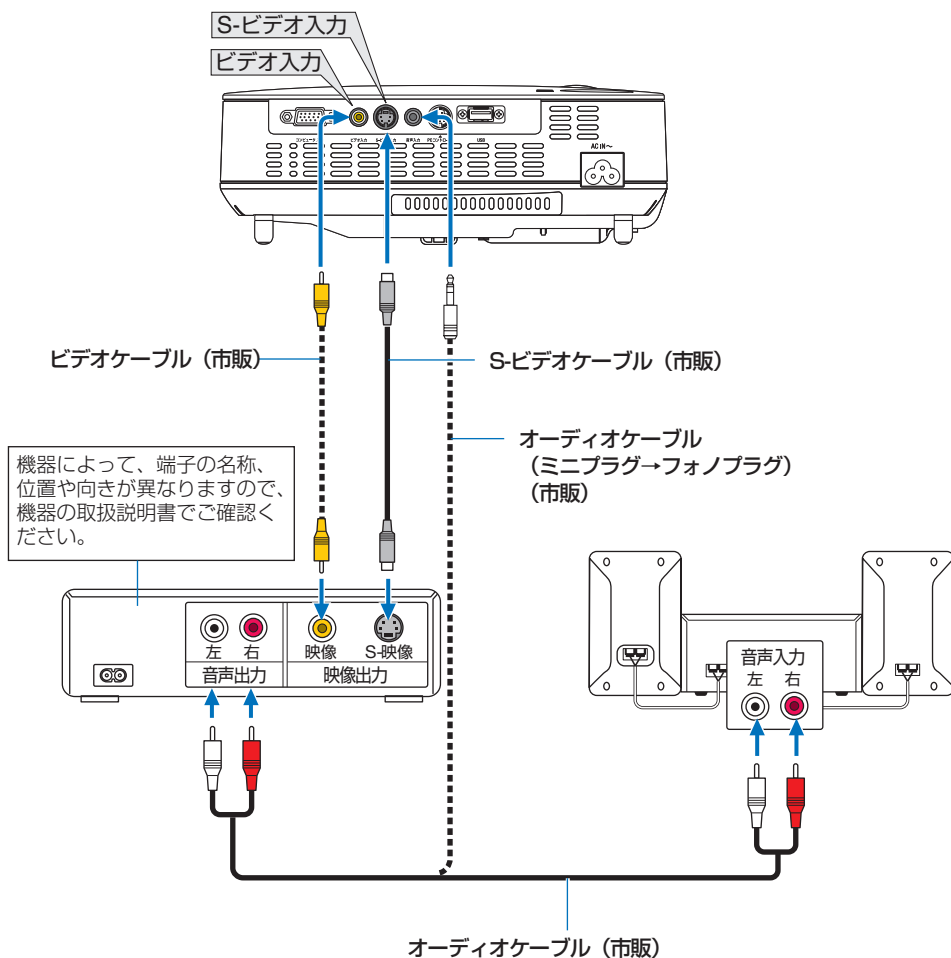
- コンピュータ映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています (DDC2B 対応)。
- Macintosh との接続では、Macintosh 用信号アダプタ (市販品) が必要になる場合があります。

2-4. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する

ビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

DVD プレーヤー、テレビチューナーなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



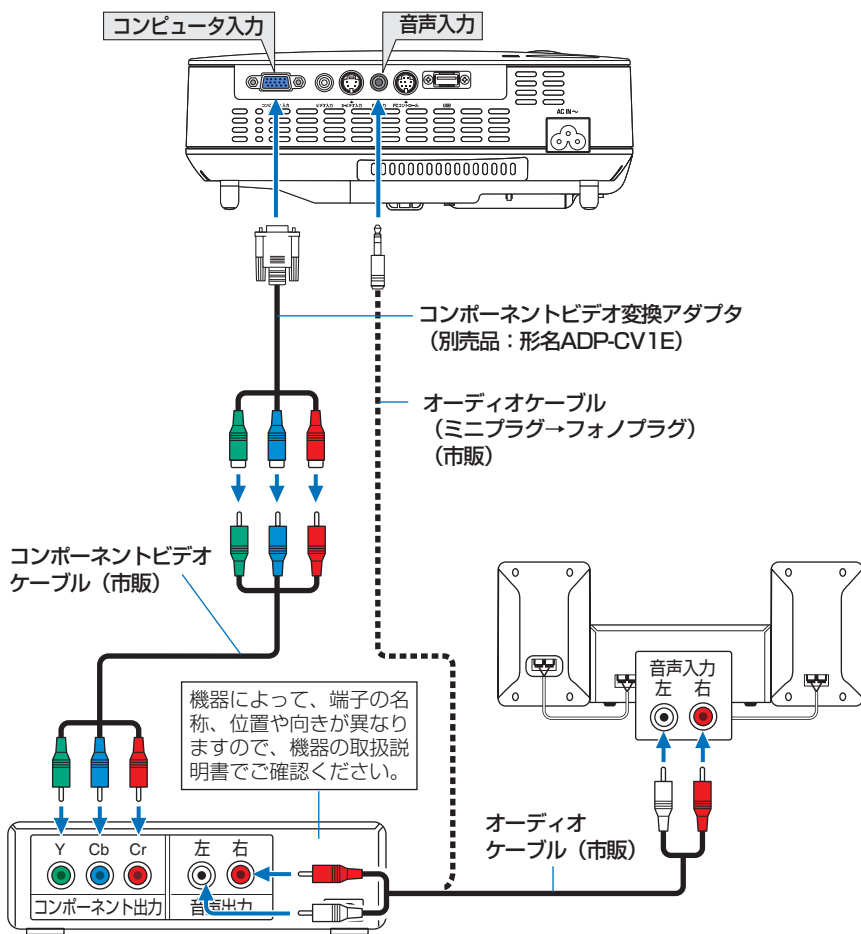
参考

- コンピュータ入力とビデオ入力およびS-ビデオ入力の音声入力端子は共用です。

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤの色差出力端子 (DVD 映像出力) やハイビジョンビデオなどのYPbPr 出力端子 (HD 映像出力) を使って本機で投写することができます。

本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

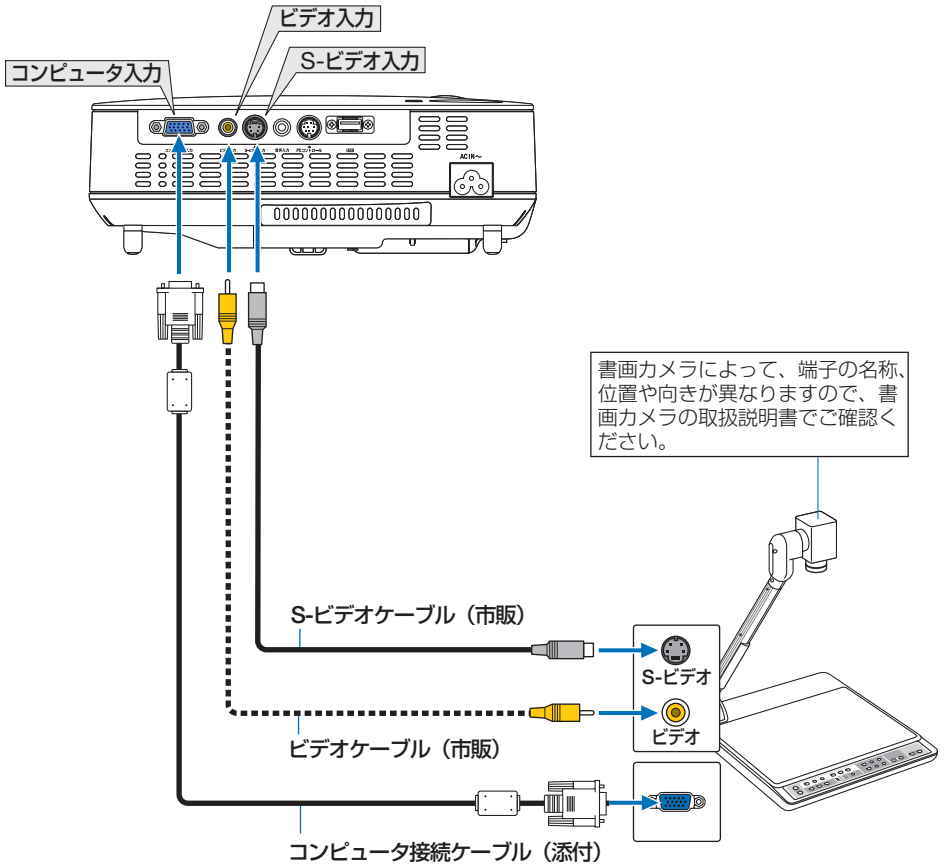


参考

- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ(形名ADP-DT1E)をお使いください。

2-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



2-6. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子と、AC100Vアース付きのコンセント(アース工事済み)を、添付の電源コード(国内仕様)で接続します。



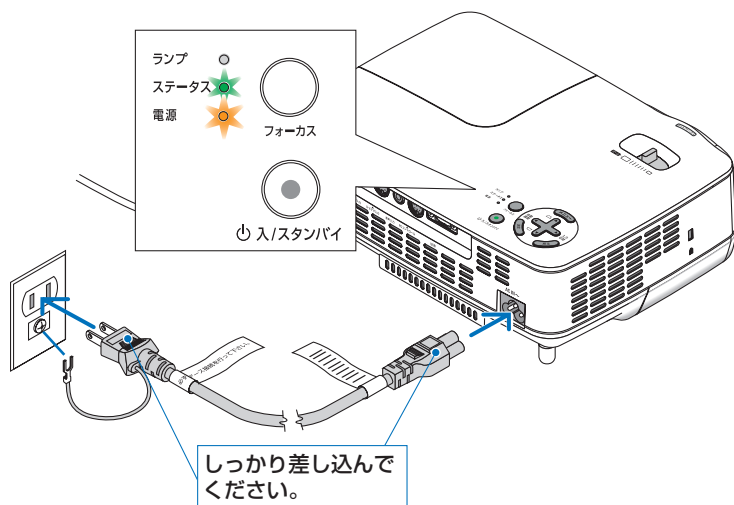
注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータがオレンジ色に点灯します(スタンバイ状態)。

また、ステータスインジケータが緑色に点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です)。

[\(93 ページ\)](#)



2

設置と接続



注意

- 投写中および冷却ファンの回転中に AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

3. 映像を投写する（基本操作）

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる（▶ 31 ページ）



ステップ 2

入力信号を選択する（▶ 33 ページ）



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する（▶ 36 ページ）



ステップ 4

コンピュータの映像を自動調整する（▶ 43 ページ）



ステップ 5

プレゼンテーションを行う



ステップ 6

本機の電源を切る（▶ 45 ページ）



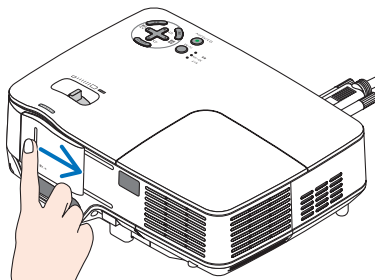
ステップ 7

あとかたづけ（▶ 46 ページ）

3-2. 本機の電源を入れる

準備 : 「2 設置と接続」(23 ページ) を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

- 1 レンズカバーを右へスライドさせて開く。



- 2 電源(入/スタンバイ) ボタンを約1秒押す。

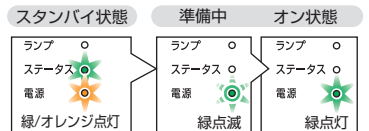
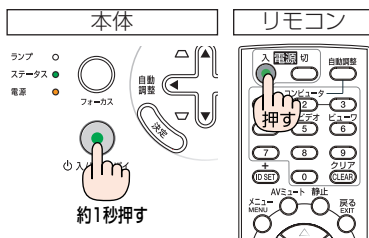
ステータスインジケータが消灯し、しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- ・リモコンで操作する場合は、電源(入) ボタンを約1秒押します。
- ・信号が入力されていないときは、ロゴ画面(NEC ロゴ : 工場出荷状態) が表示されます。

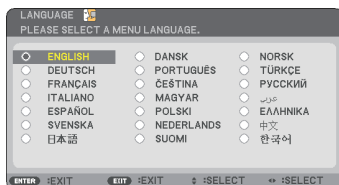
参考

- 電源を入れたとき、オートフォーカスが働きます。(38 ページ)
- 「本体キーロック中です。」が表示されたときは、本体キーロックが設定されています。(89 ページ)
- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。(51 ページ)
- 電源(入/スタンバイ) ボタンや(メニュー) ボタンなどを押すとピーブ音を出します。ピーブ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。(92 ページ)

- ・ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。



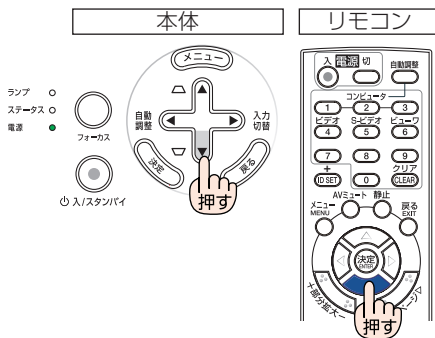
インジケータが上記以外の点滅をしているときは、110 ページをご覧ください。



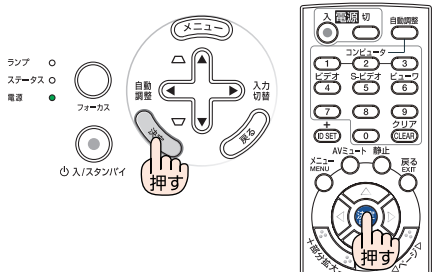
3

映像を投写する(基本操作)

- ① (▼▲▶◀) ボタンを押して、カーソルを [日本語] に合わせる。



- ② (決定) ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



注意

- 次のような場合は、電源(入/スタンバイ) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって) から電源を入れてください。
 - ・ ランプ交換時間(目安)*に達した場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
 - ・ 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが点滅(6回周期の点滅)している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源インジケータが緑色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約1分間はAC電源を切断しないでください。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで(3~5分)映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

3-3. 入力信号を選択する

本体の操作ボタンで選択する

1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生(PLAY)操作をしてください。

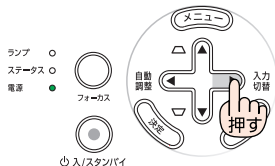
2 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**▶**(入力切替)ボタンを短く押す。

入力端子画面が表示されます。

- ・メニューを表示している場合は**戻る**ボタンを押して、メニュー表示を消してから操作してください。

注意

- NP64J/N54Jでビューワ(スライド画面、サムネイル画面)表示中は、**▶**(入力切替)ボタンを押しても、入力端子は選択できません。



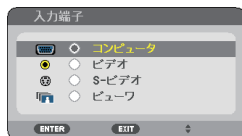
3 **▶**(入力切替)ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

▶(入力切替)ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

- ・しばらくすると選択した入力信号に切り替わります。

参考

- **▶**(入力切替)ボタンを2秒以上押すと、入力している信号を自動的に探します。ただし、この操作で「ビューワ」は選択できません。



※ この画面は NP64J/NP54J のものです。

リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生(PLAY)操作をしてください。

2 リモコンの**ビデオ**、**S-ビデオ**、**コンピュータ1**ボタンを押す。

- ・NP64J/NP54Jは**ビューワ**ボタンを押すと、ビューワが起動します。



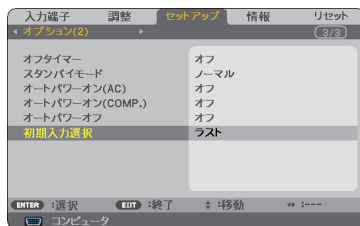
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション(2)」→「初期入力選択」を選択する。

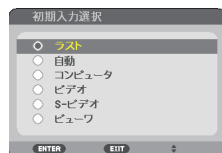
選択画面が表示されます。

- ・オンスクリーンメニューの操作については、「6-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。(▶ 72 ページ)



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



※ この画面は NP64J/NP54J のものです。

3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

注意


- NP64J/NP54J のとき、初期入力選択を「自動」に設定していてもビューワは自動検出できません。
本機の電源を入れたときにビューワを自動的に選択するには、初期入力選択で「ビューワ」を選択してください。

参考

- 本機とコンピュータをコンピュータ接続ケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます(オートパワーオン(COMP.))。(▶ 94 ページ)
- 入力信号がないときは、ロゴ画面(NEC ロゴ:工場出荷状態)が表示されます。DVD プレーヤなどは再生(PLAY)操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピュータの外部出力(モニタ出力)設定を外部に切り替えてください。
 - ・Windows の場合はファンクションキーを使います。
[Fn] キーを押したまま(⇧/⇩)などの絵表示や(LCD/VGA)の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

| | |
|------------------------|--------------------------------------|
| Fn + F2 | MSI |
| Fn + F3 | NEC、Panasonic、SOTEC、MITUBISHI、Everex |
| Fn + F4 | HP、Gateway |
| Fn + F5 | ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC |
| Fn + F7 | SONY、IBM、Lenovo、HITACH |
| Fn + F8 | DELL、ASUS、EPSON、HITACH |
| Fn + F10 | FUJITSU |

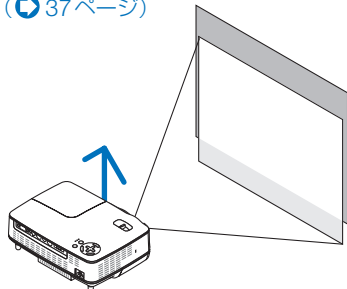
- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
 - それでも投写しない場合は、オンスクリーンメニューが消えている状態で  (入力切替) ボタンを2秒以上押してみてください。
-

3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

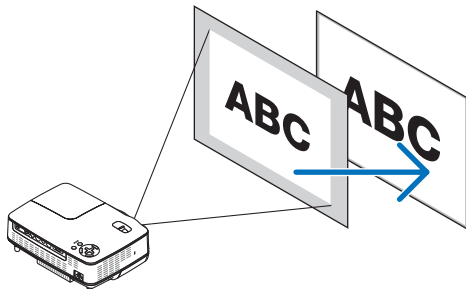
チルトフットやズームレバーなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

●手動で調整

投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整【チルトフット/リアフット】
（👉 37 ページ）

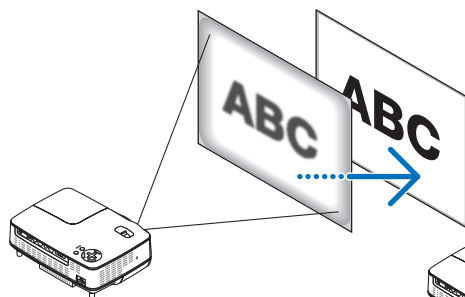


投写画面の大きさの微調整【ズームレバー】（👉 38 ページ）



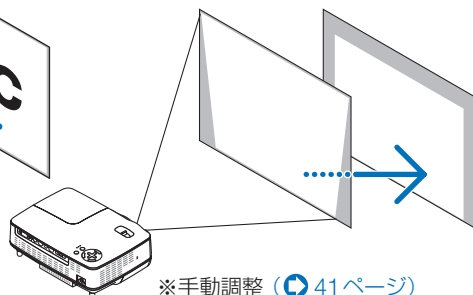
●自動で調整

自動的に投写画面のフォーカス調整を行います（動作範囲 1.5 ~ 5.5m）。
【オートフォーカス】（👉 38 ページ）



※手動調整（👉 40 ページ）

投写角度を変えると自動で投写画面の台形歪みを補正します。
【自動台形補正】（👉 39 ページ）

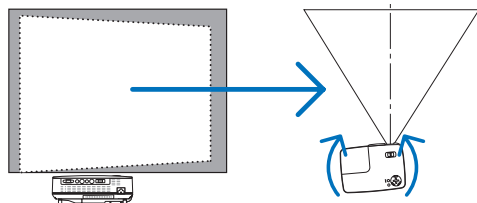


※手動調整（👉 41 ページ）

※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

参考

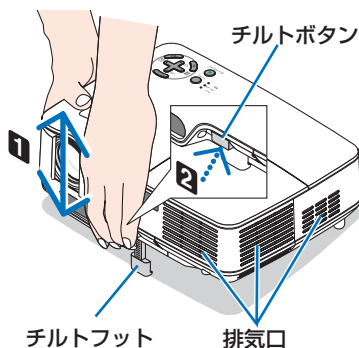
水平方向の画面の歪みは、本体が横に向いていますので、スクリーンにまっすぐ向けてください。



投写角度（投写画面の高低）と左右の傾き調整 (チルトフット／リアフット)

1 本機の前面を持ち上げスクリーンに合わせる。

- 注意**
- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフット調整の際はご注意ください。



2 チルトボタンを押し上げる。

チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。

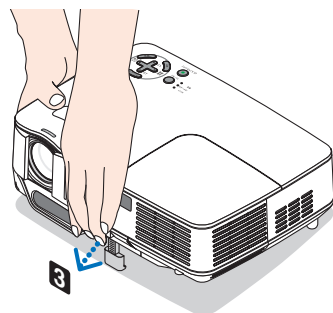
3 角度を固定したいところでチルトボタンから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

上下位置を決めると約2秒後に台形歪みが自動的に補正されます。詳しい説明は 39 ページ「自動台形補正」をご覧ください。

- ・チルトフットは、最大 25mm 伸ばすことができます。
- ・チルトフットにより、最大 10° 本機を傾けることができます。

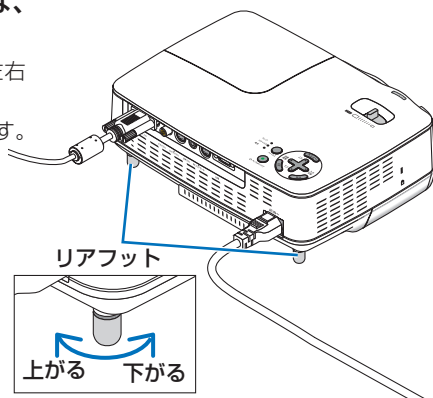
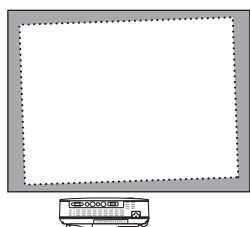
- 注意**
- チルトフットは、本機の投写角度以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。



4 投写画面の左右が傾いている場合は、リアフットを回して微調整する。

リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを微調整できます。

- ・リアフットは、最大4mm伸ばすことができます。





- リアフットは4mm以上伸ばさないでください。無理に伸ばそうとすると、リアフットの取り付け部分が不安定になり、リアフットが本体から外れます。

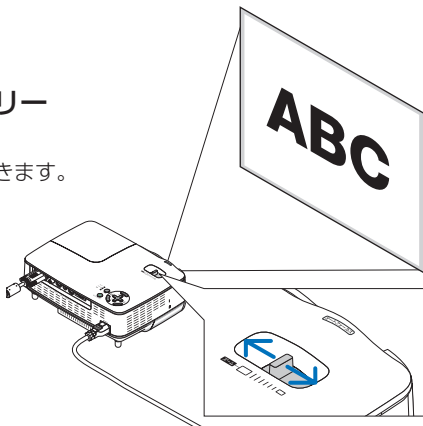
投写画面の大きさの微調整

1 ズームレバーを左右に動かしてスクリーンいっぱい投写する。

ズームレバーを動かすとオートフォーカスが働きます。

詳しくは、このページの「オートフォーカス」をご覧ください。

- 本体を前後に移動しても大きさが変わりません。
- 上下位置がずれた場合は、チルトフットを調整してください。



自動補正機能について

● オートフォーカス

フォーカスセンサ部とスクリーン間の距離を測定して投写画面のフォーカスを自動的に合わせます。これを「オートフォーカス」と呼びます。

● オートフォーカスは次のタイミングで働きます。

- 電源を入れたとき
- ズームレバーを動かしたとき
- 本体を動かしたとき
- 投写角度を変えたとき

● スクリーン（4：3）に投写する場合の動作範囲

次の投写距離または画面サイズの範囲でオートフォーカスが働きます。

| 投写距離 | 画面サイズ | |
|----------|-----------|------------|
| | テレ（ズーム最小） | ワイド（ズーム最大） |
| 1.5m（最短） | 33 型 | 40 型 |
| 5.5m（最長） | 123 型 | 149 型 |

約5.5mを超える設置など動作範囲以外の場合は、フォーカスを手動で合わせてください。

[\(▶ 40ページ\)](#)



- スクリーンの色や環境条件によっては動作範囲が狭くなったり、正しく動作しない場合があります。
- 透過スクリーンでは誤動作します。
- フォーカスセンサ部とスクリーン間を障害物でさえぎられていると誤動作します。
- 本体をゆっくり移動した場合は動作しません。
- スクリーンを移動した場合は動作しません。



- オートフォーカスを行いたくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）→オートフォーカスを「オフ」に設定します。[\(▶ 91ページ\)](#)

●自動台形補正

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写しないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むこととなります。しかし、本機の場合は、本体の上下の傾きを感知して、画面の歪みを自動的に補正します。これを「自動台形補正」と呼びます。

自動台形補正が正しく機能するよう設置の際は、以下の点をご確認ください。



- 自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約 2 秒後に行われます。
- 左右の傾き（水平方向の画面の歪み）には、対応していません。
プロジェクターのレンズ面が、スクリーンに平行になるように設置してください。
また、リアフットは左右の高さが水平になるように調整してください。

注意

- スクリーンが傾いていたり、室温が極端に高温または低温のとき、またレンズのズームを小さくしているときは、自動台形補正できちんと調整できない場合があります。自動台形補正はズームを最大にしているときに最適となるように調整しています。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては補正角度が少なくなる場合があります。
- 自動台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

参考

- 自動台形補正を行いたくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→自動台形補正を「オフ」に設定します。(▶ 86 ページ)
「オフ」に設定した場合は、手動で台形補正を行ってください。(▶ 41 ページ)

3-5. フォーカスを手動で調整する

オートフォーカスの動作範囲外に設置する場合、フォーカスを微調整する場合、またはオンスクリーンメニューのオートフォーカスを「オフ」に設定している場合はフォーカスを手動で調整します。

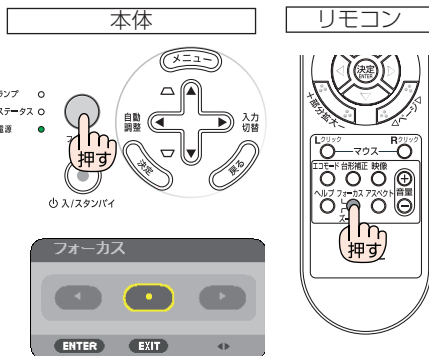
1 フォーカス ボタンを短く押す。

フォーカス調整画面が表示されます。

- リモコンで操作する場合は
フォーカス/ズーム ボタンを短く押します。
- 約5秒間ボタン操作をしなければ、フォーカス調整画面は自動的に消えます。

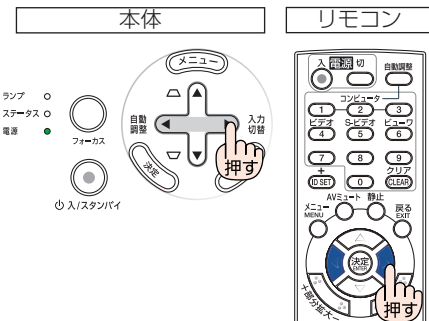
参考

- フォーカス動作範囲内のときは、**フォーカス** ボタンを2秒以上押すとオートフォーカスが働きます。



2 ◀▶ ボタンを押す。

フォーカスを調整します。



3 戻る ボタンを押す。

フォーカス調整画面が消えます。

3-6. 台形歪みを手動で調整する

自動台形補正の結果を微調整する場合、またはオンスクリーンメニューの自動台形補正を「オフ」に設定している場合は、台形歪みを手動で調整します。

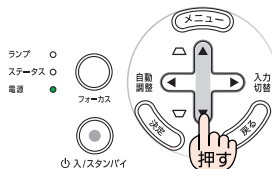
本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**▼/▲** ボタンを押す。

台形補正調整バーが表示されます。

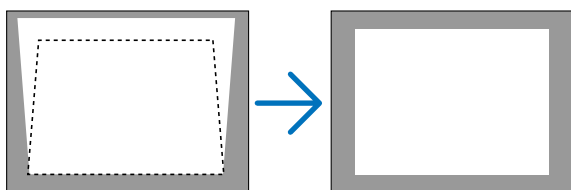
注意

- NP64J/N54Jでビューワ(スライド画面、サムネイル画面)表示中は、**▼/▲** ボタンを押しても、調整バーは表示されません。



- 2 **▼/▲** ボタンを押す。

撮影画面の左右が垂直になるように調整します。



- 3 **戻る** ボタンを押す。

台形補正調整バーが消えます。

リモコンを使って調整する

- 1 **台形補正** ボタンを押す。

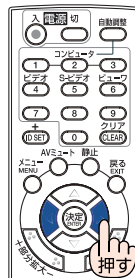
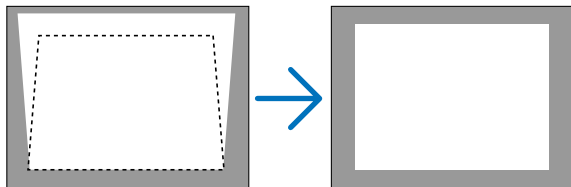
台形補正調整バーが表示されます。



次ページに続く

2 ◀▶ ボタンを押して、台形ひずみを調整する。

投写画面の左右が垂直になるように調整します。



3 ◀ ボタンを押す。

台形補正調整バーが消えます。

注意

- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

参考

- 台形補正は、上下約40°の傾きまで対応します。
ただし、本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内(0～10°)にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。
- 自動台形補正を「オフ」に設定しているときに、手動で調整した値は、台形補正保存で保存しておくことができます。(▶ 86ページ)

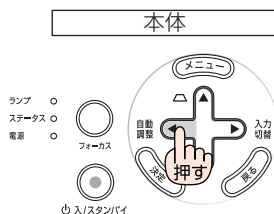
3-7. コンピュータの映像を自動調整する

コンピュータの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、**自動調整** ボタンを押して画質を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**自動調整** ボタンを押す。

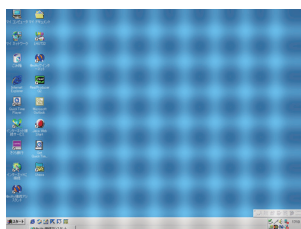
しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



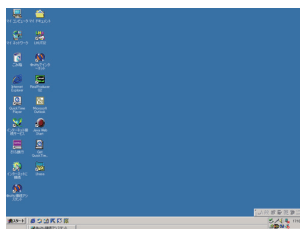
リモコンを使って調整する

- 1 **自動調整** ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 82 ページ)

クロック周波数、位相、水平、垂直で画面を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号（解像度、水平・垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。

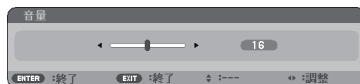
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→表示中の信号または全データを行ってください。

- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、108 ページを参照してください。

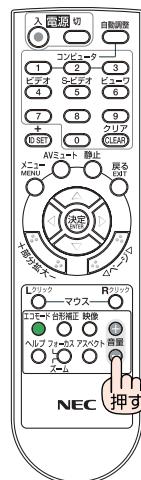
3-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

- 1 リモコンの(音量 +/-) ボタンを押す。
調整バーが表示されます。



+側……音量が大きくなります。
-側……音量が小さくなります。



注意

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。
(▶ 92ページ)

参考

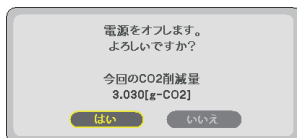
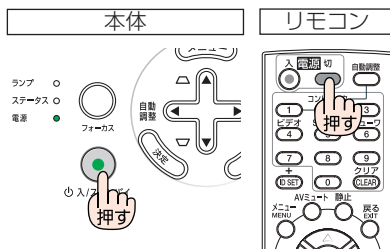
- 工場出荷時、音量は16 に設定されています。
- オンスクリーンメニューの調整→ベーシックの「音量」で調整することもできます。
(▶ 81ページ)

3-9. 本機の電源を切る

1 電源(入/スタンバイ)ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回のCO₂削減量を表示します。(▶ 50 ページ)
- リモコンで操作する場合は、電源(切)ボタンを押します。

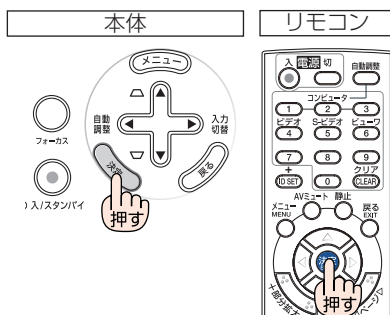


2 (決定)ボタンを押す。

ランプが消灯し、冷却ファンがしばらく回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点灯します。また、ステータスインジケータが緑色で点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

- (決定)ボタンの代わりに、電源(入/スタンバイ)ボタンまたは電源(切)ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(◀▶)ボタンで「いいえ」を選んで(決定)ボタンを押します。



注意

- 投写中および冷却ファンの回転中に AC 電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



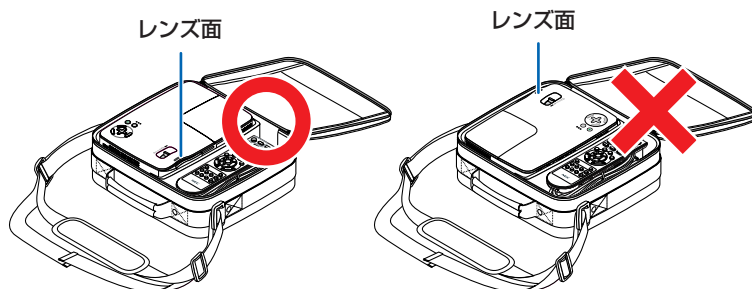
注意

- 電源インジケータが緑色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は AC 電源を切断しないでください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

3-10. あとかたづけ

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
 - ・本機にUSBメモリ、またはBluetooth® USBアダプタを挿している場合は取り外してください。
- 3 チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4 レンズカバーを左へスライドさせて閉じる。
- 5 本機、および添付品を、ソフトケースに収納する。

レンズに衝撃が加わるのを防止するため、レンズ面を内側にして収納してください。



注意

- 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットおよびリアフットを縮めてください。故障の原因となります。



注意

- 電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

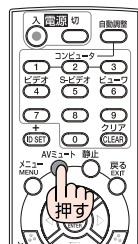
4. 便利な機能

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカから出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



注意

- ビープ音は (AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。(▶ 92ページ)

参考

- 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。

4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

DVDプレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (静止) ボタンを押すと、動画に戻ります。



注意

- NP64J/NP54J でビューワ表示中は、(静止) ボタンは動きません。

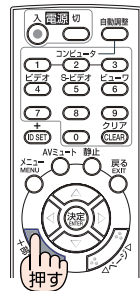
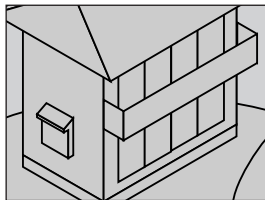
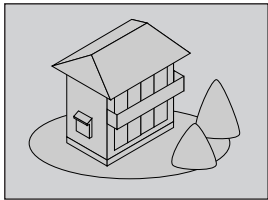
参考

- (静止) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を本機のメモリに保存し、メモリ内の画像(静止画)を投写します。静止画表示中、DVDプレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

4-3. 映像を拡大する

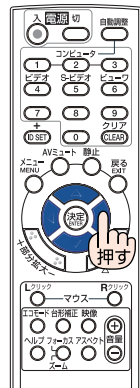
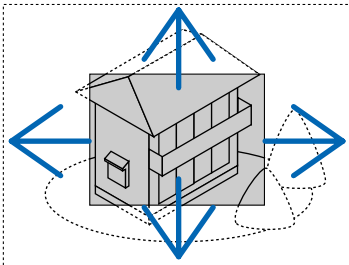
1 リモコンの **部分拡大+** ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。
・最大4倍まで拡大できます。



2 **▼▲◀▶** ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。



3 **部分拡大-** ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。
・もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。

注意

- 信号によっては、4倍まで拡大できない場合があります。
また、アスペクトで「ワイドズーム」を設定しているときは、4倍まで拡大できないことがあります。

参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 画面を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されません。

4-4. エコモードと省エネ効果

エコモードを設定すると、本機の CO₂ 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間(目安)*を延ばすことにもなります。

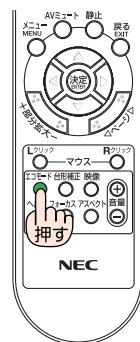
| エコモードの設定 | ランプの輝度 | ランプインジケータの状態 |
|----------|---|-----------------------------------|
| オフ | ランプの輝度(明るさ)が100%になります。 明るい画面になります。 | 消灯 ランプ ○ ステータス ○ 電源 ● |
| オン | ランプの輝度(明るさ)が次のようになります。 NP64J/NP63J …… 約75% NP54J/NP53J …… 約85% ランプ交換時間(目安)*が延びます。 ランプの輝度(明るさ)が下がるのと連動し、 冷却ファンの回転数も下がります。 | 緑色で点灯 ランプ ● ステータス ○ 電源 ● |

※保証時間ではありません。

エコモードに切り替える

1 リモコンの「エコモード」ボタンを押す。

エコモード選択画面が表示されます。



2 ▼▲ボタンで「オン」を選択し、

決定ボタンを押す。

エコモードに設定しエコモード選択画面を閉じます。





注意

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(▶87ページ)
- ランプ残量/ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(▶95ページ)
- 電源を入れた直後の約1分間は、常にエコモードは「オフ」になります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態(ロゴ表示、ブルーバック、またはブラックバックのとき)のまま約1分経過すると、自動的にエコモードは「オン」に切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの状態に戻ります。



注意

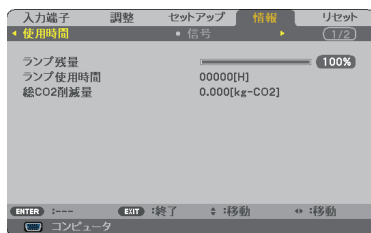
- エコモード「オフ」で使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードが「オン」に切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、オンスクリーンメニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。
室温を下げたり、ファンモード（ 92 ページ）を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモード「オフ」に戻ります。
強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

省エネ効果を見る（カーボンメータ）

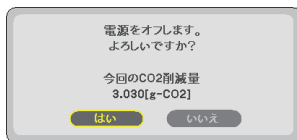
本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総 CO₂ 削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。

「総 CO₂ 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) を累積し、オンスクリーンメニューの情報→使用時間に表示します。（ 95 ページ）



「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- CO₂ 排出削減量はエコモードが「オフ」設定時の消費電力量と「オン」設定時の消費電力量の差に CO₂ 排出係数を掛けて算出*します。
* CO₂ 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

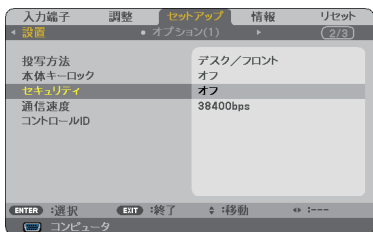
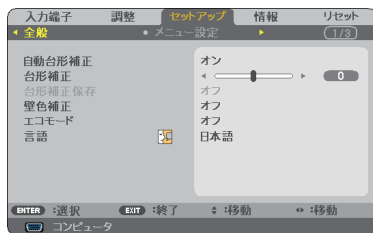
4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できません。

セキュリティを有効にする

- 1** **(メニュー)** ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。



- 5** **(▼)** ボタンで「オン」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



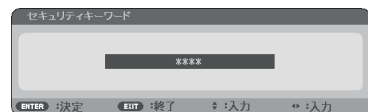
- 6** **(▼▲▶)** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**(決定)** ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。

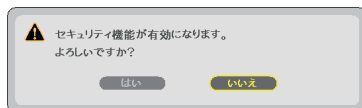
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。

- 重要**
- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



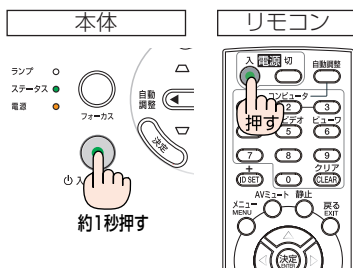
- 7** **6**で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**決定** ボタンを押す。
確認画面が表示されます。



- 8** **←** ボタンで[はい]を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **電源**(入/スタンバイ) ボタンを約1秒押す。
 ・リモコンで操作する場合は、電源(入) ボタンを約1秒押します。
 本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **メニュー** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



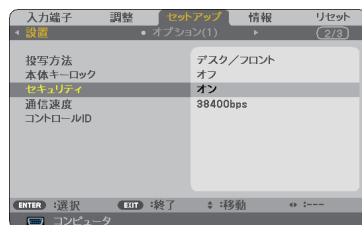
- 3** **セキュリティキーワード**を入力し、**決定** ボタンを押す。
 入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
 セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- 注意** ●セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

セキュリティを無効にする

- 1 **メニュー** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3 **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4 **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5 **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6 **セキュリティ** キーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



参考

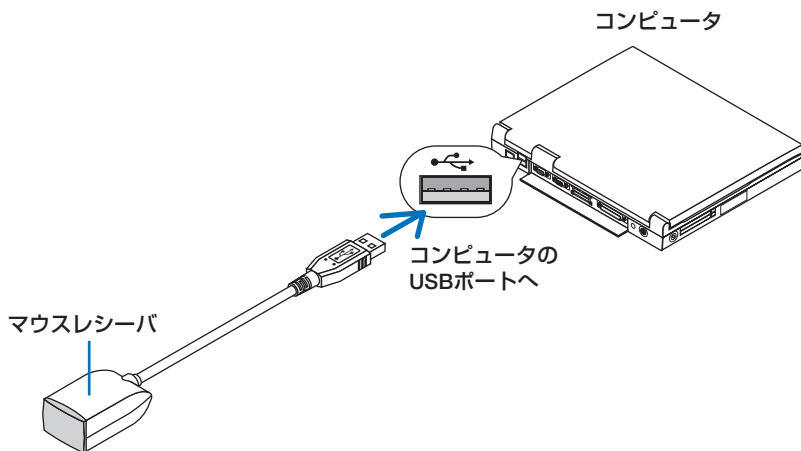
- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口(NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター [▶ 裏表紙](#))にご連絡ください。

4-6. 本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う

添付のマウスレシーバをコンピュータに接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、コンピュータの USB ポート (タイプ A) に差し込みます。



注意

- マウスレシーバは、次の OS において使用できます。
Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000
Mac OS X10.0.0 以降
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの **ページ** ボタンは働きません。
- コンピュータの USB ポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- ・(ページ◀▶)ボタン …… 画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- ・(▼▲◀▶)ボタン …… マウスポインタを移動します。
- ・(マウスLクリック)ボタン …… マウスの左クリックの働きをします。
- ・(マウスRクリック)ボタン …… マウスの右クリックの働きをします。

注意

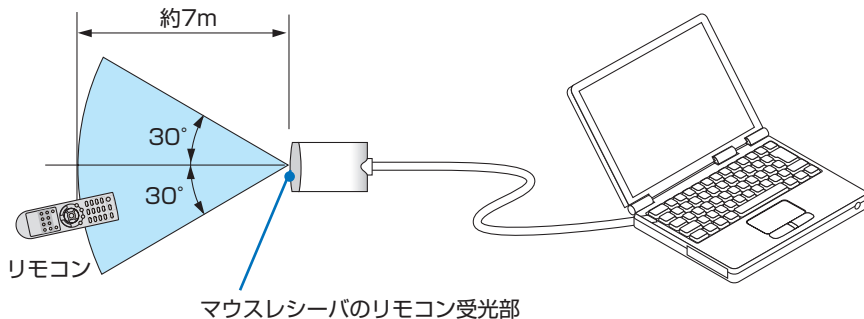
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに(▼▲◀▶)ボタンでコンピュータのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
- Mac OS用のPowerPointを使用しているときは、リモコンの(ページ◀▶)ボタンは働きません。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプか取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
 - ① マウスポインタでアイコンを選択する。
 - ② (マウスLクリック) (または(マウスRクリック)) ボタンを2～3秒間押し続けて離す。
ドラッグモードになります。
 - ③ (▼▲◀▶) ボタンを押す。
選択したアイコンが移動します。
 - ④ (マウスLクリック) (または(マウスRクリック)) ボタンを押す。
アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
 - ・ドラッグモードを解除するには、(マウスRクリック) (または(マウスLクリック)) ボタンを押します。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。



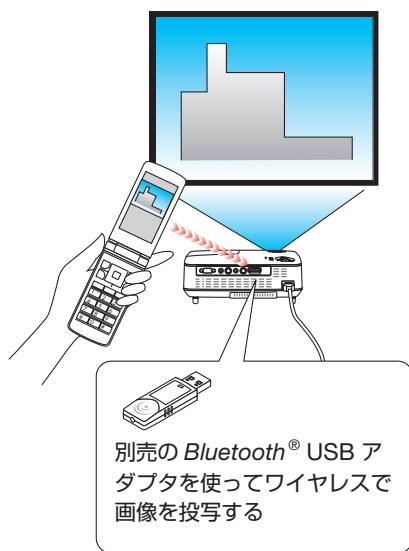
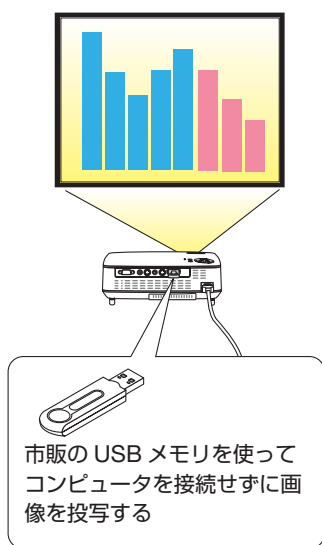
5. ビューワを使う (NP64J/NP54J)




5-1. ビューワでできること


NP64J/NP54J にはビューワを搭載しています。


ビューワには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリを本機の USB ポート (タイプ A) に挿すと、USB メモリ内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピュータを使わずにプレゼンテーションを行えます。
- ビューワで投写できる画像の種類は、GIF、JPEG、PNG、BMP です。
- ビューワではサムネイル表示が行え、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合 (スライドショー) は、手動操作で切り替える方法 (手動再生) と、自動的に切り替える方法 (自動再生) があります。また、自動再生のときは画像の切り替え時間を変更できます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、ファイル種別、日付、サイズで指定でき、昇順・降順を選択できます。
- 画像の向きを 90° 単位で変えることができます。
- 別売の Bluetooth® USB アダプタ (形名 NP01BA) を本機の USB ポート (タイプ A) に挿すと、Bluetooth 無線技術を搭載したコンピュータや携帯電話から本機に対してワイヤレスで画像を送信し投写できます。



- NP63J/NP53Jではビューワは使用できません。
- 本機のUSBポートは、USBハブには対応していません。そのため、USBメモリとBluetooth® USBアダプタを同時に使用することはできません。
- ビューワ(スライド画面、サムネイル画面)表示中は、プロジェクター本体の次のボタン操作はできません。
 - ・  ボタンによる台形補正
 - ・  (自動調整)ボタンによる自動調整
 - ・  (入力切替)ボタンによる入力切り替え

ビューワ表示中に台形補正および入力切り替えを行う場合は、 ボタンを2回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。

- ビューワ表示中は、リモコンの ボタンは動きません。
- オンスクリーンメニューで「リセット」→「全データ」を行うと、ビューワのオプションメニューの設定は工場出荷状態に戻ります。
- USBメモリについて
 - ・ ビューワ機能でUSBメモリを使用する際は、次の点にご注意ください。USBメモリを本機のUSBポートに挿す操作は、本機の電源が入った状態のとき(ランプ点灯中)に行ってください。ご使用のUSBメモリによっては、本機の電源を入れる前にUSBメモリを挿しておくことと認識できないことがあります。万一本機がUSBメモリを認識しなくなったときは、再度電源を入れなおしてください。
 - ・ 本機のビューワで使用するUSBメモリは、FAT32形式、FAT16形式、またはFAT12形式でフォーマットしてください。フォーマットする際は、アロケーションユニットサイズを32KB以下としてください。本機は、NTFS形式でフォーマットされたUSBメモリを認識できません。本機に挿したUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
 - ・ 本機のUSBポートは、市販されているすべてのUSBメモリの動作を保証するものではありません。
- 対応画像について

| 画像の種類 | 拡張子 | 制限事項 |
|----------------|--------------|------------------------------------|
| GIF | GIF | インターレース、透過、およびアニメーションには対応していません。 |
| JPEG | JPG/JPE/JPEG | CMYK、プログレッシブには対応していません。 |
| PNG | PNG | インターレース、 α チャンネルには対応していません。 |
| Windows Bitmap | BMP | — |

- ・ ビューワで投写できる画像は次のとおりです。
- ・ 本機で投写できる最大解像度は、4000×4000ピクセルです。
- ・ 上記の条件を満たしている画像であってもビューワで投写できない場合があります。
- 1つのフォルダ内のファイル数が300を超える場合、ビューワでは表示できません。
- 1つのフォルダ内のファイル数が多いと、画面を切り替えるのに時間がかかります。画面の切り替えを速くするには、1つのフォルダ内のファイル数を減らしてください。



● **PowerPoint ファイルをビューワで投写するには**

PowerPoint ファイルをビューワで投写するには、PowerPoint のファイル保存時に、GIF 形式、JPEG 形式、PNG 形式、または BMP 形式に変換してください。ただし、画像によってはビューワで表示できないものがあります。

(PowerPoint 2003 の場合)

- 1** ファイルを PowerPoint で開く。
- 2** [ファイル (F)] → [名前を付けて保存 (A)...] をクリックする。
- 3** 保存する場所を選択し、[ファイルの種類 (T):] 欄で、次のいずれかを選択する。
 - ・ GIF グラフィックス交換形式 (*.gif)
 - ・ JPEG ファイル交換形式 (*.jpg)
 - ・ PNG ポータブル ネットワーク グラフィックス形式 (*.png)
 - ・ デバイスに依存しないビットマップ (*.bmp)ここでは BMP 形式をおすすめします。
- 4** [保存 (S)] をクリックする。
次の確認画面が表示されます。
「プレゼンテーションのスライドをすべてエクスポートしますか？それとも、現在のスライドだけをエクスポートしますか？」
- 5** [すべてのスライド (E)] をクリックする。
このあと、ファイル形式を変更して保存したファイルを USB メモリにコピーしてください。

5-2. USBメモリ内の画像を投写する(基本操作)

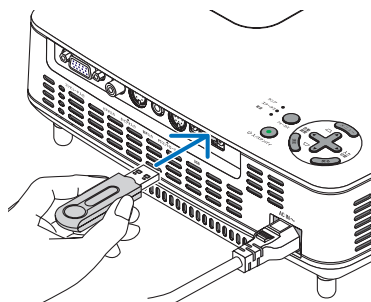
ここでは、ビューワの基本操作を説明します。ビューワのオプションメニュー (▶ 65ページ) が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

- ・ビューワを起動する …………… このページ
- ・本機からUSBメモリを取り外す …………… 61ページ
- ・ビューワを終了する …………… 62ページ

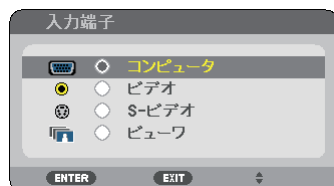
準備: コンピュータを使って複数の画像をUSBメモリに保存してください。

ビューワを起動する

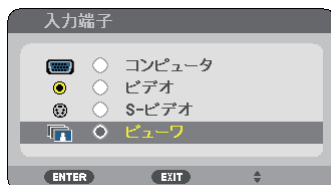
- 1** 本機の電源を入れる。(▶ 31ページ)
- 2** 本機のUSBポートにUSBメモリを挿す。
 - ・本機からUSBメモリを取り外すときは、サムネイル画面で(メニュー)ボタンを押して「USBデバイスを取り外す」を選択してください。(▶ 61ページ「本機からUSBメモリを取り外す」の手順**1**)



- 3** (▶) (入力切替) ボタンを押す。
入力端子画面が表示されます。
 - ・リモコンの場合は(ビューワ)ボタンを押します。ビューワが起動しUSBメモリ内の画像が投写されます(スライド画面)。手順**5**に進みます。



- 4** (▶) (入力切替) ボタンを3回押して「ビューワ」にカーソルを合わせる。
(▶) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。
 - ・このとき(▶)ボタンは長押ししないでください。(▶)ボタンを2秒以上押すと、入力信号の自動検出を行います。



「ビューワ」にカーソルを合わせたまましばらくすると、ビューワが起動しUSBメモリ内の画像が投写されます（スライド画面）。



5  ボタンを押す。




次の画像が投写されます。

6  ボタンを押す。

前の画像が投写されます。

7  ボタンを押す。


コントロールバーが表示されます。

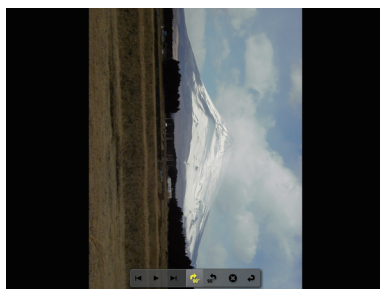
- ・コントロールバー表示中に ボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度 ボタンを押すと、入力端子画面は消えます。
- ・コントロールバー表示中に ボタンを押すと、コントロールバーは消えます。



8  ボタンを押して  にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

画像が時計回りに90°回転します。

- ・この状態で ボタンを押すごとに、画像が時計回りに90°回転します。






9  ボタンを押して  にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

コントロールバーが消えます。

10  ボタンを押す。

サムネイル画面に変わります。

- ・手順**7**のコントロールバーで にカーソルを合わせ、 ボタンを押してもサムネイル画面に変わります。
- ・サムネイル画面からスライド画面に戻す場合は、スライド表示する画像にカーソルを合わせ、 ボタンを押します。



本機からUSBメモリを取り外す

1 サムネイル画面で(メニュー)ボタンを押す。

画面左下にポップアップメニューが表示されます。

- ポップアップメニュー表示中に(メニュー)ボタンを押すと、入力端子画面が表示されます。もう一度(メニュー)ボタンを押すと、入力端子画面は消えます。
- ポップアップメニュー表示中に(戻る)ボタンを押すと、ポップアップメニューは消えます。

2 「USBデバイスを取り外す」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

画面中央に確認メッセージが表示されます。

3 USBメモリを取り外す場合は、(左)ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

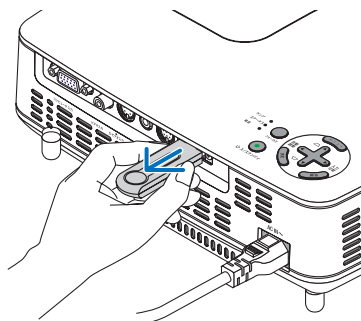
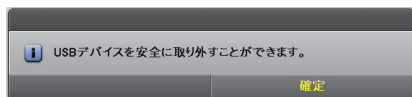
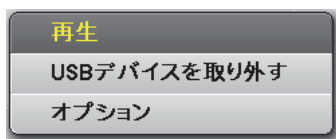
画面中央のメッセージ表示が変わります。

4 (決定)ボタンを押す。

5 本機からUSBメモリを取り外す。

注意

- メニューで「USBデバイスを取り外す」を実行せずに本機からUSBメモリを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。



ビューワを終了する

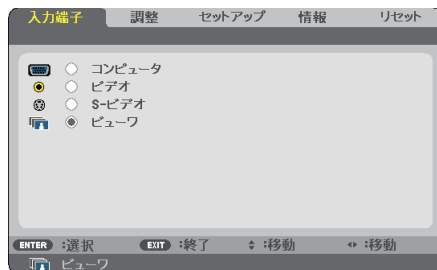
1 スライド画面またはサムネイル画面で

メニュー ボタンを押す。

コントロールバーまたはポップアップメニューが表示されます。

2 もう一度 **メニュー** ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。



3 「ビューワ」以外の入力端子にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

ビューワが終了します。


参考

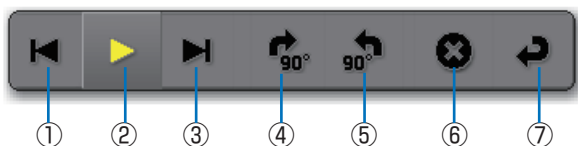
- リモコンで操作する場合は、「ビューワ」以外の入力端子を選択すると、ビューワが終了します。



5-3. スライド画面の操作

スライド画面では次の操作が行えます。

- ▶ ボタン 次の画像を投写します。
- ◀ ボタン 前の画像を投写します。
- 決定 ボタン ポインタ () を表示します。ポインタは ◀▶▶▶ ボタンを押すと移動します。もう一度決定ボタンを押すとポインタが消えます。
- 戻る ボタン サムネイル画面に切り替えます。
- メニュー ボタン コントロールバーを表示します。
◀▶ ボタンを押して黄色のカーソルを移動し目的の項目で決定ボタンを押します。各項目の働きは次のとおりです。



| コントロールバーの項目 | 説明 |
|--------------|--------------------------------------|
| ① 戻る | 前の画像を投写します。 |
| ② 再生/停止 | スライドショーの自動再生を開始します。またはスライドショーを停止します。 |
| ③ 進む | 次の画像を投写します。 |
| ④ 右 90° 回転 | 画像を時計回りに 90° 回転します。 |
| ⑤ 左 90° 回転 | 画像を反時計回りに 90° 回転します。 |
| ⑥ 終了 | コントロールバーを消します。 |
| ⑦ サムネイル画面へ戻る | サムネイル画面に切り替えます。 |

5-4. サムネイル画面の操作

サムネイル画面の見かた



| 名称 | 説明 |
|-------------------------------|---|
| ① パス | 投写しているフォルダのパスを表示します。 USBメモリを挿しているときはドライブ名が「USB」と表示され、Bluetooth® USB アダプタを挿しているときはドライブ名が「Bluetooth」と表示されます。 |
| ② 上の階層へ | 上(親)の階層のフォルダに戻ります。 |
| ③ 画像またはフォルダ(サムネイル表示またはアイコン表示) | 画像やフォルダをサムネイル(縮小表示)またはアイコンで表示します。 |
| ④ 選択している画像のファイル名 | カーソルが当たっている画像のファイル名を表示します。 |
| ⑤ 情報表示 | <ul style="list-style-type: none"> ●画像にカーソルがあるとき 画像の順番(全画像数分の何番目か)、画像に変更を加えた最新の日時、ファイル容量を表示します。ただし、Bluetooth 無線技術で受信した画像の日時は表示されません。 ●フォルダにカーソルがあるとき フォルダの更新日時を表示します。 ●ドライブにカーソルがあるとき ドライブの空き容量を表示します。 |

サムネイル画面の操作

- ◀▶▶ ボタン …………… カーソルを移動します。
- 決定 ボタン …………… 画像にカーソルが合っている場合は、スライド画面に切り替わります。
フォルダにカーソルが合っている場合は、フォルダ内のファイルが表示されます。
「上の階層へ」にカーソルが合っている場合は、上(親)の階層のフォルダに戻ります。
- 戻る ボタン …………… 上(親)の階層のフォルダに戻ります。
- メニュー ボタン …………… 次のポップアップメニューを表示します。

| メニュー項目 | 説明 |
|--------------|---|
| 再生 | スライドショーを開始するときに選択します。 |
| 削除… (注) | Bluetooth 無線技術で受信した画像を削除します。「削除」と「全ファイル削除」のサブメニューが表示されます。 |
| USBデバイスを取り外す | 本機に挿しているUSBメモリを使用停止状態にします。本機からUSBメモリを取り外す前に、このメニュー項目を実行します。 |
| オプション | オプションメニューを表示します。(このページ) |

(注) 本機に別売の Bluetooth® USB アダプタ (形名 NP01BA) を挿しているときに表示されます。(69 ページ)

オプションメニュー

の項目は、工場出荷時の設定です。

| メニュー項目 | | 説明 |
|--------|---------|-------------------|
| ビューワ | 再生モード | 手動 自動 |
| | 間隔 | 5(秒)～300(秒) |
| | 開始 | スライド画面 サムネイル画面 |
| | 繰り返し | オフ オン |
| | サムネイル表示 | オフ オン |

| | | | |
|---------|--------------------------|--|--|
| | 並び順 | 名前(ABC..) (注1) 名前(ZYX.. 種類(ABC.. 種類(ZYX.. 日付 (新) 日付 (旧) サイズ (大) サイズ (小) | スライドショーを再生するときの画像の表示順、およびサムネイル画面の画像の並び順を選択します。 |
| USB | USBデバイスを取り外す | 実行 | 本機に挿しているUSBメモリを使用停止状態にします。本機からUSBメモリを取り外す前に、このメニュー項目を実行します。 |
| | <i>Bluetooth</i> 設定 (注2) | | |
| | サーチの応答 (注2) | オフ オン | <i>Bluetooth</i> 無線技術を搭載した機器のサーチ処理に対して応答するかどうかを選択します。 |
| | デバイス名 (注2) | — | <i>Bluetooth</i> 無線技術を搭載した機器に対して、ここで設定したデバイス名を返信します。 デバイス名の初期値は、本機に挿している <i>Bluetooth</i> ® USB アダプタのBDアドレス (コロンを除いた12桁) が設定されます。 |
| | パスキー (注2) | オフ オン [0000] 変更 | <i>Bluetooth</i> 無線技術を搭載した機器との接続時に認証および暗号化を行うかどうかを選択します。 また必要に応じて認証用文字列 (1~8文字) を変更します。 |
| | BDアドレス (注2) | — | 本機に挿している <i>Bluetooth</i> ® USB アダプタのBDアドレスを表示します。 |
| VERSION | FIRMWARE | | ビューワのファームウェアのバージョンを表示します。 |
| | DATA | | |
| | FONT | | |

(注 1) 「並び順」の設定は、本機の電源を入れなおすと「名前 (ABC..)」に戻ります。

(注 2) 本機に別売の *Bluetooth*® USB アダプタ (形名 NP01BA) を挿しているときに表示されます。 (▶ 69 ページ)

文字の入力方法

Bluetooth® USB アダプタを使用する際、「デバイス名」および「パスキー」を入力／変更する場合は、文字入力画面（ソフトウェアキーボード）で行います。
ここでは、パスキーの入力を例に説明します。
オプションメニューでパスキーの「変更」を選択すると、文字入力画面が表示されます。



●文字を入力する

- 1 ▼ ボタンを押す。
文字種別の欄にカーソルが移動します。



- 2 ◀▶ ボタンを押す。
文字種別が「英大文字」、「英小文字」、「数字」と切り替わります。



- 3 目的の文字種別にカーソルを合わせ、

▼ ボタンを押す。
文字欄にカーソルが移動します。

- 4 目的の文字にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
入力欄に文字が表示されます。



- 5** 必要な文字入力が終わったら、(▼) ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

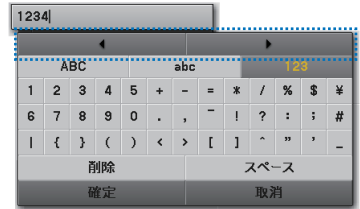
入力欄の文字が決定されます。

- ・「取消」にカーソルを合わせ(決定) ボタンを押すと、文字入力を中止します。

● 入力欄の文字を修正する

- 1** (▼/▲) ボタンを押して「◀」、「▶」欄にカーソルを移動する。

「◀」、「▶」欄が濃いグレーになります。



- 2** (◀/▶) ボタンを押す。

入力欄の文字カーソル (|) が左右に移動します。



- 3** 文字カーソル (|) を削除する文字の右に移動する。

- 4** (▼) ボタンを押して「削除」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

入力欄の文字が消えます。

- ・「スペース」にカーソルを合わせ(決定) ボタンを押すと、文字カーソルの位置に半角スペースが入力されます。



5-5. Bluetooth® 無線技術を使って画像を送信する

概要

別売のBluetooth® USB アダプタ (形名 NP01BA) を本機のUSBポート (タイプA) に挿すと、Bluetooth 無線技術を搭載したコンピュータや携帯電話から本機に対してワイヤレスで画像を送信し投写することができます。



- 本機からBluetooth® USB アダプタを取り外すと、受信した画像はすべて消去されず。
- 本機がスタンバイ状態になったりAC電源が切断されたりすると、受信した画像はすべて消去されます。
- 本機で受信した画像を保存することはできません。
- 本機が受信できる容量は、すべての画像を合わせて6メガバイトまでです。1つの画像の容量は、2.5メガバイトまでです。
- 画像を送信中に、本機が受信できる容量を超えた場合は、受信した順番が古い画像から削除し、新しい画像を受信します。なお、画像を削除する際、確認メッセージは表示しません。

Bluetooth® USB アダプタの主な仕様

| | |
|----------|--|
| 形名 | NP01BA |
| 規格 | Bluetooth Ver.2.0+EDR |
| 通信方式 | FH-SS (周波数ホッピング方式) |
| 使用周波数 | 2.4GHz 帯 (2402-2480MHz) |
| 送信出力 | 2.5mW、Class2 |
| 対応プロファイル | BIP (Basic Imaging Profile) OPP (Object Push Profile) |
| 見通し通信距離 | 約 10m (※使用環境によって異なります。) |
| 外形寸法 | 17.6 (幅) × 9.0 (高さ) × 56.3 (奥行) mm |
| 質量 | 6g |
| 使用環境 | 温度：0～40℃ 湿度：20～80% (ただし、結露しないこと) |
| 保存環境 | 温度：-10～60℃ 湿度：20～80% (ただし、結露しないこと) |

- 送信機器側が Bluetooth® USB アダプタ (形名 NP01BA) のプロファイルに対応しているかを、事前に送信機器の取扱説明書などを参照して確認してください。
- Bluetooth® USB アダプタ (形名 NP01BA) は、当社のプロジェクター専用です。

操作の流れ

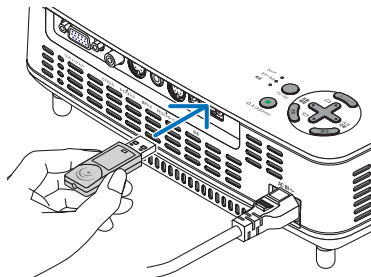
① 本機の電源を入れる。

② 本機の入力切り替え (▶) (入力切替) で「ビューワ」を選択する。

- ・リモコンで操作しているときは (ビューワ) ボタンを押してください。

③ 本機の USB ポートに *Bluetooth*[®] USB アダプタを挿す。

- ・ *Bluetooth*[®] USB アダプタの「☺」側の面を上にして挿してください。
- ・ 画面下部に「*Bluetooth* 初期化中」と表示されている間は、*Bluetooth*[®] USB アダプタを取り外さないでください。初期化中に *Bluetooth*[®] USB アダプタを取り外すと故障の原因となります。
- ・ *Bluetooth* の初期化処理が正常に終了すると、サムネイル画面左上のドライブ表示が「*Bluetooth*」に変わります。



④ *Bluetooth* 無線技術を搭載したコンピュータや携帯電話から本機へ画像を送信する。

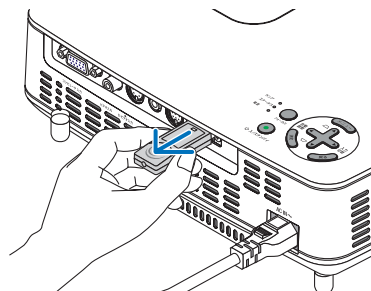
- ・ 送信機器側で、本機のデバイス名を選択し、パスキーを入力してください。本機のデバイス名の初期値は「挿している *Bluetooth*[®] USB アダプタの BD アドレス」です。また、パスキーの初期値は「0000」です。
- ・ 本機が画像を受信すると、サムネイル画面に表示します。
- ・ 本機で表示できない画像を受信した場合は、「ファイルフォーマットが正しくありません。」とメッセージを表示します。その場合、ファイルは本機に保存しません。

⑤ 本機のビューワを操作して、画像を投写する。

- ・ 画像を受信したあとのビューワの操作は、USB メモリのとときと同じです。
(▶ 「5-3. スライド画面の操作」63 ページ)、(▶ 「5-4. サムネイル画面の操作」64 ページ)
- ・ 受信した画像を削除する場合は、サムネイル画面で (メニュー) ボタンを押して、ポップアップメニューの「削除...」を選択してください。

⑥ *Bluetooth*[®] USB アダプタの使用を終了する。

- ・ 本機から *Bluetooth*[®] USB アダプタを取り外します



Bluetooth 無線技術が繋がらないとき

Bluetooth 無線技術が正常に行えないときは、次の項目を確認してください。

| このようなとき | 確認してください | 参照ページ |
|---|--|-------|
| Bluetooth 無線技術を搭載している機器において本機のデバイス名が表示されない。 または画像の送信速度が遅い。 | Bluetooth® USB アダプタが本機に正しく挿してあるかを確認してください。サムネイル画面左上のドライブ名に「Bluetooth」と表示されていれば正常です。 | 70 |
| | Bluetooth 無線技術を搭載している機器と本機の距離が離れ過ぎていないか、また間に障害物がないかを確認してください。Bluetooth 無線技術は、見通し約 10m の範囲で使用できます。（※使用環境によって異なります。） | 69 |
| | 周囲に電波を発する機器がないかを確認してください。たとえば無線 LAN 装置や電子レンジが発する電波と干渉を起こす場合があります。 | — |
| | 本機の設定で Bluetooth 無線技術を搭載している機器のサーチ処理の応答を「オフ」にしていると、サーチ画面に表示されません。本機のサーチの応答を「オン」に設定するか、Bluetooth 無線技術を搭載している機器で BD アドレスを直接入力してください。 | 66 |
| | 送信側の機器で Bluetooth 無線技術が「オフ」に設定されていないかを確認してください。 | — |
| Bluetooth 無線技術を搭載している機器が本機に接続できない。 | 本機は同時に複数の機器からのデータを受信することができません。他の機器からの送信が完了するまでお待ちください。 | — |
| | 本機にパスキーを設定しているときは、送信側の機器でも同一のパスキーを設定しないと接続することができません。 | 66 |
| | 送信側の機器が本機の Bluetooth 対応プロファイル (BIP または OPP) に対応しているかを確認してください。本機のプロファイル (BIP または OPP) に対応していない機器から画像を送信することはできません。 | 69 |

6. オンスクリーンメニュー

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する画像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

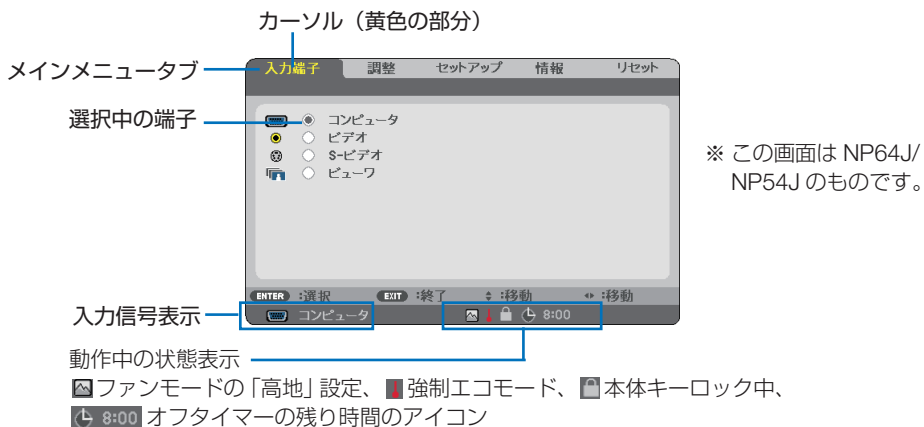
メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

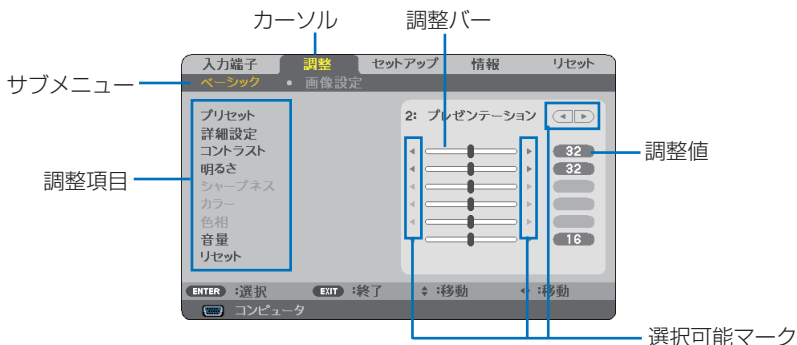
1 (メニュー) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは[入力端子]のメニューが表示されます。

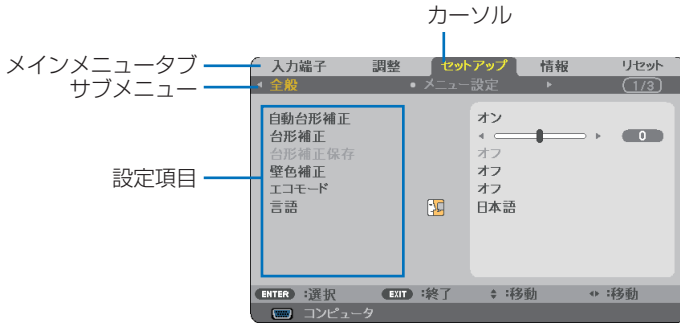


2 (▶) ボタンを1回押す。

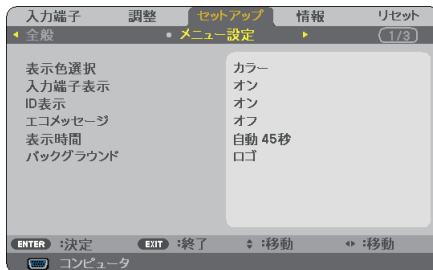
カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。



- 3 (▼▲) ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。
- 4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀▶) ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。
 - ・「◀▶ (選択可能マーク)」が付いている項目は(◀▶) ボタンで設定を切り替えることができます。
 - ・「◀▶ (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(決定) ボタンを押します。
 - ・調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(決定) ボタンを押すと、ベーシックの調整や設定を工場出荷状態に戻します。(81 ページ)
- 5 (戻る) ボタンを2回押します。
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。
- 6 (▶) ボタンを1回押す。
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



- 7 (決定) ボタンを押す。
全般にカーソルが移動します。
 - ・セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション(1)、オプション(2)、という5つのサブメニューがあります。(◀▶) ボタンで選択します。
- 8 (▶) ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。
メニュー設定のメニューに切り替わります。



- 9 (▼)ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼▲)ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

・選択を取り消す場合は、(戻る)ボタンを押します。

- 12 (メニュー)ボタンを1回押す。

メニューが消えます。



● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

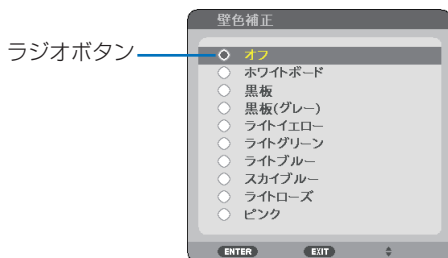
調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択


選択肢から1つ「」を選びます。


【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



- 1 (▼▲)ボタンを押す。

選択されているマーク()が移動します。

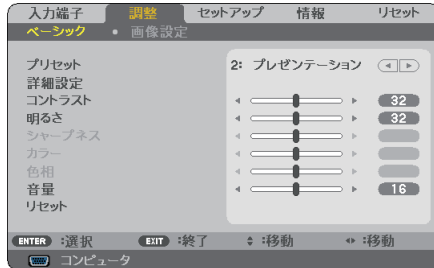
- 2 選択する項目にを移動したら、(決定)ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **(戻る)** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット



- 1** リセットにカーソルが合っていることを確認する。
- 2** **(決定)** ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3** 実行する場合は、**(←/→)** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
機能が実行されます。
・ 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**(決定)** ボタンを押します。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

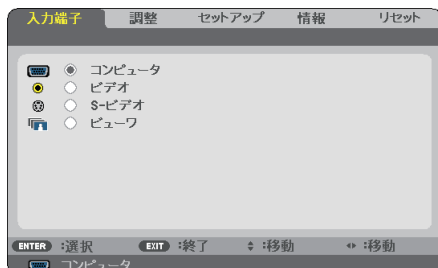
は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

| メインメニュー | サブメニュー | 選択項目 | 参照ページ | | | |
|---------|--|---|-------|---|--------|-------|
| 入力端子 | - | コンピュータ | 78 | | | |
| | | ビデオ | | | | |
| | | S-ビデオ | | | | |
| | | ビューワ (NP64J/NP54J) | | | | |
| 調整 | ベーシック | | 79 | | | |
| | プリセット | 1:高輝度モード/2:プレゼンテーション/3:ビデオ/ 4:ムービー/5:グラフィック/6:sRGB | | | | |
| | 詳細設定 | 参照 | | 高輝度モード/プレゼンテーション/ビデオ/ ムービー/グラフィック/sRGB | 80 | |
| | | ガンマ補正 | | ダイナミック/ナチュラル/ソフト | 80 | |
| | | 色温度 | | 5000/6500/7800/8500/9300/10500 | 80 | |
| | | BrilliantColor | | オフ、中、強 | 80 | |
| | コントラスト | | | 81 | | |
| | 明るさ | | | | | |
| | シャープネス | | | | | |
| | カラー | | | | | |
| | 色相 | | | | | |
| | 音量 | | | | 81 | |
| | リセット | | | | 81 | |
| | 画像設定 | クロック周波数 | | 82 | | |
| | | 位相 | | 82 | | |
| | | 水平 | | 82 | | |
| | | 垂直 | | 82 | | |
| | | アスペクト | | 自動/4:3/16:9/15:9/16:10/ ワイドズーム/リアル | 83 | |
| | | 表示位置 | | 84 | | |
| | | ノイズリダクション | | オフ/弱/中/強 | 85 | |
| | | テレシネモード | | オフ/2-2/2-3自動/2-2オン/2-3オン | 85 | |
| | | セットアップ | | 全般 | 自動台形補正 | オフ/オン |
| | 台形補正 | | | | | 86 |
| 台形補正保存 | オフ/オン | | 86 | | | |
| 壁色補正 | オフ/ホワイトボード/黒板/ 黒板(グレー)/ライトイエロー/ ライトグリーン/ライトブルー/ スカイブルー/ライトローズ/ピンク | | 86 | | | |
| エコモード | オフ/オン | | 86 | | | |
| 言語 | ENGLISH, DEUTSCH, FRANÇAIS, ITALIANO, ESPAÑOL, SVENSKA, 日本語, DANSK, PORTUGUÊS, ČEŠTINA, MAGYAR, POLSKI, NEDERLANDS, SUOMI, NORSK, TÜRKÇE, РУССКИЙ, عربي, ΕΛΛΗΝΙΚΑ, 中文, 한국어 | | 86 | | | |

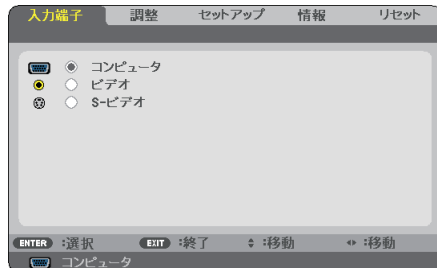
| | | | | |
|------------------|-----------|---|---|----|
| メニュー設定 | 表示色選択 | カラー／モノクロ | 87 | |
| | 入力端子表示 | オフ／オン | 87 | |
| | ID 表示 | オフ／オン | 87 | |
| | エコメッセージ | オフ／オン | 87 | |
| | 表示時間 | 手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒 | 87 | |
| | バックグラウンド | ブルーバック／ブラックバック／ロゴ | 88 | |
| | 設置 | 投写方法 | デスク/フロント/天吊り/リア/ デスク/リア/天吊り/フロント | 88 |
| 本体キーロック | | オフ／オン | 89 | |
| セキュリティ | | オフ／オン | 89 | |
| 通信速度 | | 4800bps／9600bps／19200bps／ 38400bps | 90 | |
| コントロール ID | | コントロールID番号 | 1 ~ 254 | 90 |
| | | コントロール ID | オフ／オン | |
| オプション (1) | オートフォーカス | オフ／オン | 91 | |
| | ファンモード | 自動／高速／高地 | 92 | |
| | カラー方式 | ビデオ | 自動判別／ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM | 92 |
| | | S-ビデオ | 自動判別／ NTSC3.58 / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM | |
| | WXGA モード | オフ／オン | 92 | |
| | ビープ音 | オフ／オン | 92 | |
| | オプション (2) | オフタイマー | オフ／ 0 : 30 / 1 : 00 / 2 : 00 / 4 : 00 / 8 : 00 / 12 : 00 / 16 : 00 | 93 |
| スタンバイモード | | ノーマル／省電力 | 93 | |
| オートパワーオン (AC) | | オフ／オン | 93 | |
| オートパワーオン (COMP.) | | オフ／オン | 94 | |
| オートパワーオフ | | オフ／ 0 : 05 / 0 : 10 / 0 : 20 / 0 : 30 | 94 | |
| 初期入力選択 | | ラスト／自動／コンピュータ/ ビデオ／S-ビデオ／ビューワ (NP64J/ NP54J) | 94 | |
| 情報 | | 使用時間 | ランプ残量／ランプ使用時間／総 CO2 削減量 | 95 |
| | 信号 | 信号名／水平同期周波数／垂直同期周波数／信号形式/ ビデオ標準／同期形態／同期極性／走査方式 | | |
| | VERSION | PRODUCT / SERIAL NUMBER / FIRMWARE / DATA / CONTROL ID * | | |
| リセット | — | 表示中の信号 | 96 | |
| | | 全データ | | |
| | | ランプ時間クリア | | |

※：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

6-3. 入力端子



NP64J/NP54J



NP63J/NP53J

●入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」（ドット）を表示します。

| | |
|-----------------------|--|
| コンピュータ | コンピュータ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。 |
| ビデオ | ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。 |
| S-ビデオ | S-ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。 |
| ビューフ (NP64J/NP54J) | 本機のUSBポートに挿した市販のUSBメモリ内の画像を投写します。 また、本機のUSBポートに別売のBluetooth® USBアダプタを挿すと、Bluetooth無線技術を搭載したコンピュータや携帯電話から本機へ画像を送信し投写します。 |

参考

- コンピュータ映像入力端子に接続しているコンポーネント入力信号を、「コンピュータ」を選択してください。
- コンピュータ映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

6-4. 調整

ベーシック



●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

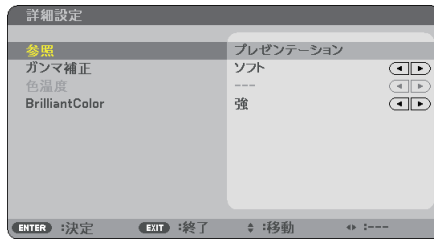
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～6に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～6に登録できます。

| | |
|--------------|--|
| 1: 高輝度モード | 明るい部屋で投写するときに適した設定にします。 |
| 2: プレゼンテーション | PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。 |
| 3: ビデオ | テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。 |
| 4: ムービー | 映画を投写するときに適した設定にします。 |
| 5: グラフィック | グラフィック画面に適した設定にします。 |
| 6: sRGB | sRGBに準拠した色が再現されます。 |

▲参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

詳細設定



参照

プリセット項目の1～6にお好みの調整値を登録します。

最初に、参照から調整のもととなるモードを選択し、続いてガンマ補正、色温度、または BrilliantColor の項目について、設定を行います。

ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

| | |
|--------|------------------|
| ダイナミック | メリハリのある映像設定です。 |
| ナチュラル | 標準的な設定です。 |
| ソフト | 信号の暗い部分が鮮明になります。 |

色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

| | |
|-------|------------------------|
| 10500 | 色温度が高くなり、青みがかった白になります。 |
| ↑ ↓ | |
| 5000 | 色温度が低くなり、赤みがかった白になります。 |

BrilliantColor

白の明るさを選択します。

「中」 → 「強」を選ぶと白色が明るくなります。

注意

- 参照で「高輝度モード」を選択すると、色温度と BrilliantColor は変更できません。
- 参照で「プレゼンテーション」を選択すると、色温度は変更できません。 BrilliantColor は「中」と「強」の切り替えができます。
- 壁色補正を「オフ」以外に設定していると、色温度は変更できません。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

| | |
|--------|--------------------------------|
| コントラスト | 映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。 |
| 明るさ | 映像を明るくしたり、暗くします。 |
| シャープネス | 映像をくっきりしたり、やわらかくします。 |
| カラー | 色を濃くしたり、淡くします。 |
| 色相 | 赤みがあった映像にしたり、緑があった映像にします。 |

注意

●各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

| 入力信号 | コントラスト | 明るさ | シャープネス | カラー | 色相 |
|-----------------------|--------|-----|--------|-----|----|
| コンピュータ (RGB) | ○ | ○ | × | × | × |
| コンポーネント | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ビデオ、S-ビデオ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ビューワ (NP64J/NP54J) | ○ | ○ | × | × | × |

(○：調整可、×：調整不可)

●音量

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

注意

●ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。(▶ 92ページ)

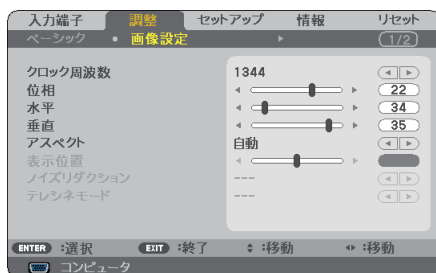
参考

- 工場出荷時、音量は16に設定されています。
- 音量は、リモコンの(音量+/-)ボタンでも調整できます。

●リセット

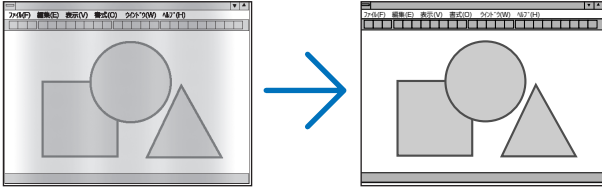
スクリーンに投写している映像調整（コントラスト、明るさ、シャープネス、カラーおよび色相）と音量を工場出荷状態に戻します。

画像設定



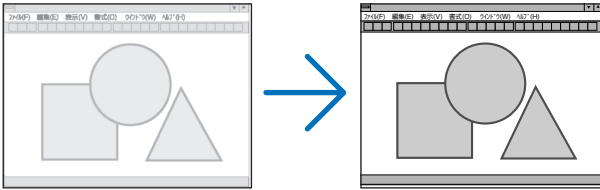
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる(明暗の縦帯が出なくなる)ように調整します。



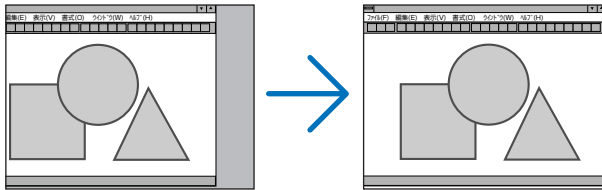
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



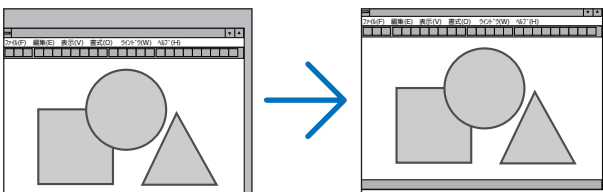
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。



注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
 - クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
- 本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→表示中の信号または全データを行ってください。

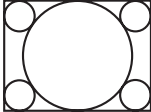
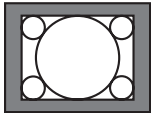
●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

| 解像度 | アスペクト比 |
|-------------------|---------|
| VGA 640 × 480 | 4 : 3 |
| SVGA 800 × 600 | 4 : 3 |
| XGA 1024 × 768 | 4 : 3 |
| WXGA 1280 × 768 | 15 : 9 |
| WXGA 1280 × 800 | 16 : 10 |
| WXGA+ 1440 × 900 | 16 : 10 |
| SXGA 1280 × 1024 | 5 : 4 |
| SXGA+ 1400 × 1050 | 4 : 3 |
| UXGA 1600 × 1200 | 4 : 3 |

| 選択項目 | 説明 |
|---------|--|
| 自動 | 入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(▶次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。 |
| 4 : 3 | 4 : 3 のサイズで投写します。 |
| 16 : 9 | 16 : 9 のサイズで投写します。 |
| 15 : 9 | 15 : 9 のサイズで投写します。 |
| 16 : 10 | 16 : 10 のサイズで投写します。 |
| ワイドズーム | 映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。 |
| リアル | <p>コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【例 1】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p>  <hr/> <p>【例 2】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p>  </div> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● 本機の表示画素数より上の解像度 (SXGA など) の信号を表示した場合は、「リアル」を選択しても本機の表示画素数で表示されます。 |

【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

コンピュータ信号のとき

| 入力信号の アスペクト比 | 4:3 | 5:4 | 16:9 | 15:9 | 16:10 |
|------------------------|-----|-----|------|------|-------|
| 適切に自動判別した ときの画面イメージ | | | | | |

ビデオ信号のとき

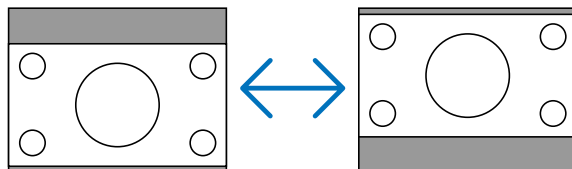
| 入力信号の アスペクト比 | 4:3 | レターボックス | スクイーズ |
|---------------------|-----|---------|--|
| 自動判別したときの 画面イメージ | | | (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」または「ワイドズーム」を選択してください。 |

参考

- アスペクトを「16:9」、「15:9」、または「16:10」に設定しているときは、表示位置で垂直位置を調整できます。(このページ)
- ビデオ映像の標準アスペクト比4:3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ1.85:1やシネマスコープ2.35:1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16:9の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して4:3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

●表示位置

アスペクトで「16:9」、「15:9」、または「16:10」を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



●ノイズリダクション

ビデオ信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減します。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定しています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

●テレシネモード

映画などを投写して画面のちらつきが気になる場合、本機のI-P変換処理モードのテレシネ信号を最適なモードに設定します。

| | |
|------------|---------------------------------------|
| オフ | プルダウン処理を強制的に無効にします。 |
| 2-2/2-3 自動 | テレシネ信号か、そうでないかを判別し、自動的に最適なモードに切り替えます。 |
| 2-2 オン | 2-2 プルダウン処理モードに設定します。 |
| 2-3 オン | 2-3 プルダウン処理モードに設定します。 |

6-5. セットアップ

全般



●自動台形補正

自動台形補正 (🔗 39 ページ) を行います。

| | |
|----|---------------|
| オフ | 手動で台形補正を行います。 |
| オン | 自動台形補正を行います。 |

●台形補正

投写画面の台形歪みを手動で調整します。(🔗 41 ページ)

●台形補正保存

[台形補正] で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

| | |
|----|---------------------------------|
| オフ | 次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。 |
| オン | 本体内部のメモリに調整値を保存します。 |

●壁色補正

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

●エコモード

エコモードを設定すると、本機のCO₂ 排出量(消費電力削減量より換算)を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間(目安)*を延ばすことにもなります。(🔗 49, 50 ページ)

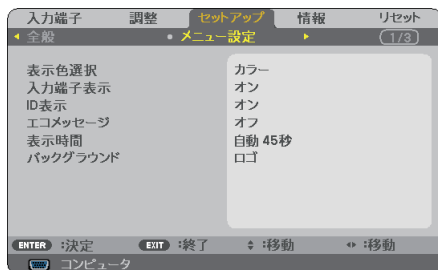
※保証時間ではありません。

●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考 ● 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定



●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。
- ・ 信号が入力されていないとき、画面右上に「無信号」と表示されます。

●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID (🔵 90ページ) をご覧ください。

●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合は「オン」に設定するよううながします。

エコモードが「オン」時のエコメッセージ

表示を消すには、(決定)ボタンまたは(戻る)ボタンを押します。30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



エコモードが「オフ」時のエコメッセージ

(決定)ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。(🔵 49ページ)

表示を消すには(戻る)ボタンを押します。

- ・ 30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

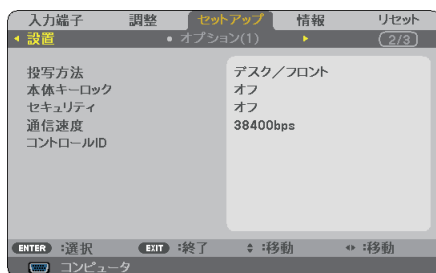
入力信号がないときの背景色を選択します。

| | |
|---------|------------|
| ブルーバック | 背景色が青色 |
| ブラックバック | 背景色が黒色 |
| ロゴ | 背景が NEC ロゴ |

参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても解除されません。
- ロゴをお好みの絵柄に変更することができます。詳しくは、NEC プロジェクター・カスタムサポートセンターにお問い合わせください。

設置



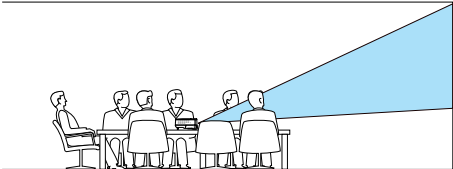
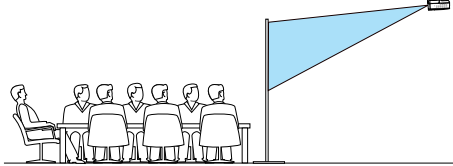
●投写方法

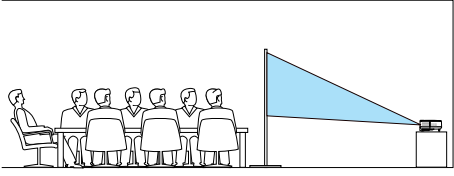
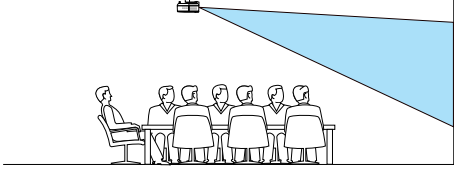
本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

| | |
|----------|--|
| デスク/フロント | テーブルに設置してスクリーンの前面から投写  |
| 天吊り/リア | 天井に設置してスクリーンの背面から投写  |

| | |
|----------|---|
| デスク／リア | テーブルに設置してスクリーンの背面から投写  |
| 天吊り／フロント | 天井に設置してスクリーンの前面から投写  |

●本体キーロック


プロジェクター本体にある操作ボタンを利かないようにします。

| | |
|----|---------------------|
| オフ | 本体操作部のボタンが利きます。 |
| オン | 本体操作部のボタンが利かなくなります。 |

注意

- 本体キーロックの解除方法
本体操作ボタンがロックされているときに、本体の **戻る** ボタンを約 10 秒間押し続けると、ロックが解除されます (本体キーロックの設定が無効になります)。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する」
([51 ページ](#)) をご覧ください。

| | |
|----|--------------------------------|
| オフ | セキュリティを無効にします。 |
| オン | セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。 |

注意

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PCコントロール端子のデータ転送速度を選択します。
接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターにIDを割り振り、1個のリモコン(本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコン)を使用して、IDを切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じIDを設定し、1個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

| | | |
|--------------|-------------------------|-----------------------|
| コントロール ID 番号 | 割り当てる番号を1～254の中から選択します。 | |
| コントロール ID | オフ | コントロール ID 機能が無効になります。 |
| | オン | コントロール ID 機能が有効になります。 |

注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります(本体操作ボタンは除く)。

参考

- コントロールIDは、リセットを行っても解除されません。
- 本体の(決定)ボタンを10秒間押し続けると、コントロールIDを解除するメニューが表示されます。

リモコンへのIDの設定/変更方法

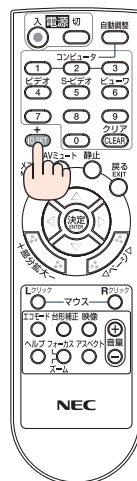
- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの(ID SET)ボタンを押す。
コントロールID画面が表示されます。



このとき、現在のリモコンIDで操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順

- 3 でプロジェクターのコントロールID番号と同じ番号をリモコンに設定します。



- 3** リモコンの **(ID SET)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンのIDを設定する。

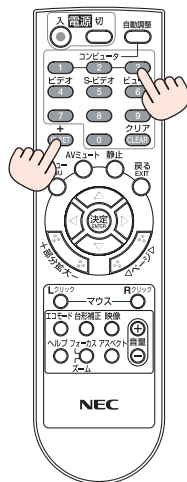
たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。
IDなし(すべてのプロジェクターを一括操作)するには、000を入力するか、または **(CLEAR(クリア))** ボタンを押します。

- 参考**
- リモコンのIDは1～254まで登録できます。

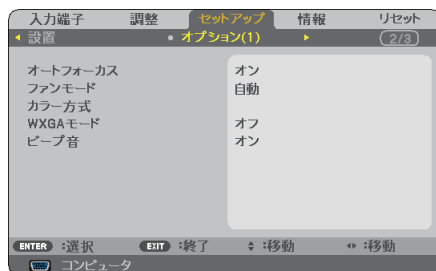
- 4** **(ID SET)** ボタンを離す。

コントロールID画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコンIDで動作・非動作画面が更新されます。

- 注意**
- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくするとIDはクリアされることがあります。
 - リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定しているIDはクリアされます。



オプション (1)



●オートフォーカス

オートフォーカス機能([38ページ](#))の入/切を設定します。

| | |
|----|---|
| オフ | オートフォーカス機能は動きません。 |
| オン | 電源を入れる・ズームレバーを動かす・本体を移動すると自動的に投写画面のフォーカスを合わせます。 |

●ファンモード


本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

| | |
|----|---|
| 自動 | 本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。 |
| 高速 | 常に高速で回転します。 |
| 高地 | 標高約 1500m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。 |

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1500m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1500m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地(標高約 1500m 未満)で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品(ランプなど)の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に  アイコンが表示されます。

●カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるビデオ / S-ビデオ信号方式を選択します。工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

参考

- ビデオ映像入力端子および S-ビデオ映像入力端子の入力信号の設定ができます。

●WXGA モード

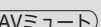
「オン」にすると、入力信号を認識する際、WXGA (1280 × 768 ドット) 信号を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024 × 768 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

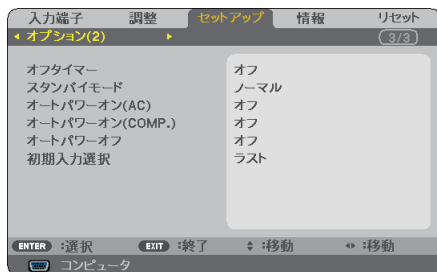
●ビープ音

電源の入 / 切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

注意

- ビープ音の音量は調整できません。また、 ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

オプション (2)



●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくことで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

- 参考**
- オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

| | |
|------|---|
| ノーマル | スタンバイ状態のとき、ステータスインジケータが緑色で点灯します。 |
| 省電力 | 省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。スタンバイ状態のとき、ステータスインジケータが消灯します。ただし、スタンバイ状態のときにPC コントロール端子やオートパワーオン (COMP.)は動きません。 |

- 注意**
- 本体キーロック、コントロールID、オートパワーオン (COMP.) のいずれかが「オン」に設定されていると、スタンバイモードを「省電力」に設定しても無効になります。

- 参考**
- スタンバイモードはリセットを行っても変更されません。
 - スタンバイモードはカーボンメータのCO₂削減量の計算から除外しています。

●オートパワーオン (AC)

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

| | |
|----|---|
| オフ | AC電源が供給されるとスタンバイ状態になります。 |
| オン | AC電源が供給されると電源が入ります。初期入力選択(👉次ページ)で設定している信号が投写されます。 |

●オートパワーオン (COMP.)

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピュータ映像入力端子とコンピュータをコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

| | |
|----|---|
| オフ | オートパワーオン (COMP.) 機能は働きません。 |
| オン | コンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。 |

注意

- コンピュータ映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は働きません。
- オートパワーオン (COMP.) を「オン」に設定すると、スタンバイモードを「省電力」に設定していても無効になります。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン (COMP.) を働かせたい場合は、電源を切ったあと3秒以上待ってから、コンピュータ信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

●オートパワーオフ

入力選択がコンピュータ、ビデオ、S-ビデオのとき、設定した時間 (5分、10分、20分、30分) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態にします。

●初期入力選択

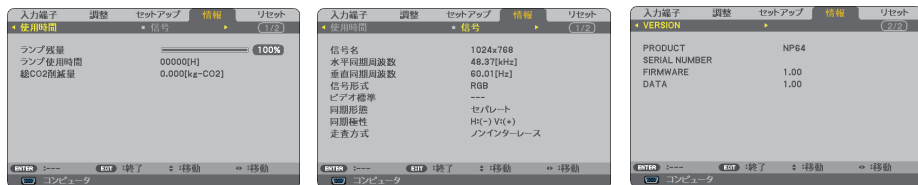
本機の電源を入れたとき、どの入力信号 (入力端子) にするかの設定を行います。

| | |
|--------------------|----------------------------------|
| ラスト | 最後に映した入力信号を投写します。 |
| 自動 | 入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。 |
| コンピュータ | コンピュータ映像入力端子の入力信号を投写します。 |
| ビデオ | ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。 |
| S-ビデオ | S-ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。 |
| ビューワ (NP64J/NP54J) | ビューワを起動します。 |

注意

- NP64J/NP54Jのとき、初期入力選択を「自動」に設定していても「ビューワ」は自動検出できません。
本機の電源を入れたときに「ビューワ」を自動的に選択するには、初期入力選択で「ビューワ」を選択してください。

6-6. 情報



ランプ使用時間、総 CO₂ 削減量、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名などの情報を表示します。

- 使用時間ページの「総 CO₂ 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。
- 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(114 ページ) もあわせてご覧ください。
- VERSION ページは、製品の形名・製造番号・ソフトウェアのバージョンを表示します。また、コントロール ID 番号を設定しているときは、その番号を表示します。

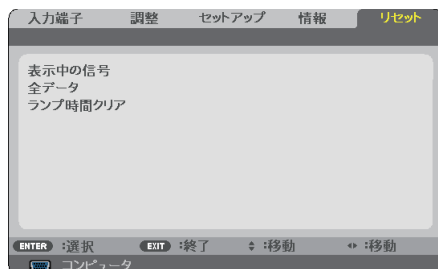
参考

- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について
本機にはエコモード機能があります。エコモードを「オフ」での使用と「オン」で使用した場合はランプの交換時間(目安)*が異なります。ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
 - 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-3. ランプと冷却ユニットの交換」(99 ページ)をご覧ください。
 - ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間、および本機の電源(入/スタンバイ)ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
 - ランプ交換時間(目安)*に到達(ランプ残量0%)後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100 (H)」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0 (H)」になると、本機の電源が入らなくなります。

| | ランプ使用時間 | | ランプ残量 |
|------------------|------------------------|------------------------|-------|
| | エコモード「オフ」でのみ 使用(最小) | エコモード「オン」でのみ 使用(最大) | |
| 工場出荷時 | 0000 時間 | | 100% |
| ランプ交換時間 (目安)* | 2500 時間 | 3500 時間 | 0% |

※保証時間ではありません。

6-7. リセット



●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場設定値になります。
リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされるデータ】

コントラスト・明るさ・シャープネス・カラー・色相・ノイズリダクション・プリセット・
アスペクト・水平・垂直・クロック周波数・位相・テレシネモード

●全データ

本機に記憶されているすべての調整・設定値が工場出荷状態になります。
リセットの処理には多少時間がかかります。

【リセットされないデータ】

言語・セキュリティ・通信速度・ランプ残量・ランプ使用時間・バックグラウンド・
コントロールID番号・コントロールID・ファンモード・スタンバイモード・総CO2削減量

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。

注意

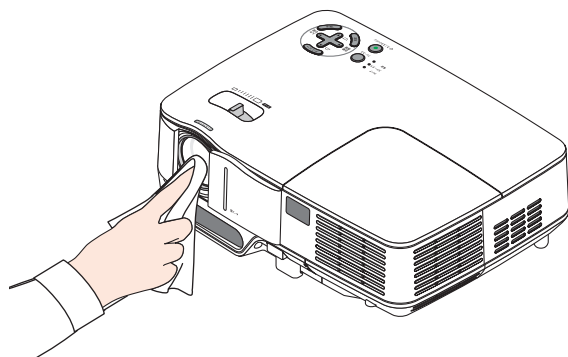
- ランプ残量とランプ使用時間は、全データではクリアされません。

7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. レンズとフォーカスセンサの清掃

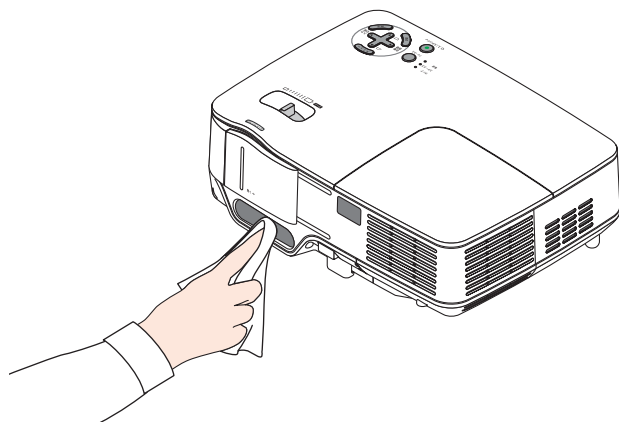
レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で(市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って)クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



フォーカスセンサの清掃

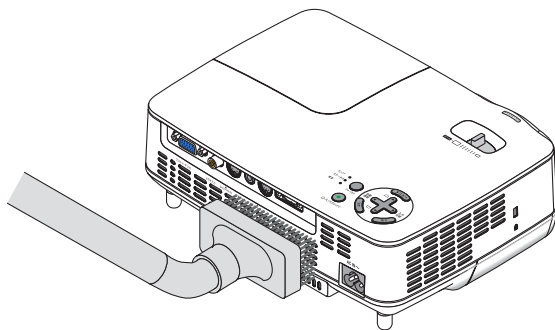
メガネ用クリーニングペーパーを使ってクリーニングしてください。フォーカスセンサ部のカバーが傷ついたり汚れていると正常なフォーカス調整ができなくなったり、オートフォーカスの動作範囲が狭くなります。



7-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



側面（前後左右）と底面の通風孔やスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置環境にもよりますが 100 時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- スピーカ部分のほこりを清掃する場合は、掃除機のブラシの先端がスピーカ部分に触れないように注意してください。スピーカ部分に圧力がかかると故障の原因となります。
- キャビネット、レンズおよびフォーカスセンサ部、スクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-3. ランプと冷却ユニットの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)^{*1} (🔗 95ページ)を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます^{*2}。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間(目安)^{*1}が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報(使用時間)」 (🔗 95ページ)をご覧ください。

- 交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際は次の交換用ランプをご指定ください。

| | |
|---------------|-----------|
| NP64J/NP63J 用 | 形名 NP09LP |
| NP54J/NP53J 用 | 形名 NP08LP |

- 交換用ランプには冷却ユニットが添付されていますので、ランプを交換したあとに冷却ユニットも必ず交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間(目安)^{*1}に到達後100時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※ 1 保証時間ではありません。

※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間、および本機の電源(入/スタンバイ)ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。

電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。



注意

ランプおよび冷却ユニットの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

●ランプと冷却ユニット交換の流れ

準備：別売品の交換用ランプと冷却ユニットを用意します（冷却ユニットは交換用ランプに添付しています）。
お手持ちのプラスドライバーを用意します。

ステップ1. プロジェクターが十分冷えていること、電源コードを抜いていることを確認する (🔄 前ページの「注意」)



ステップ2. ランプを交換する (👉 このページ)



ステップ3. 冷却ユニットを交換する (🔄 103ページ)

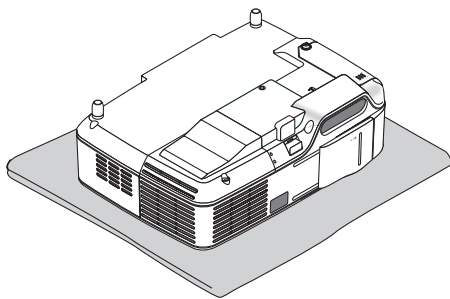


ステップ4. ランプ残量とランプ使用時間をクリアする (👉 104ページ)

●ランプの交換

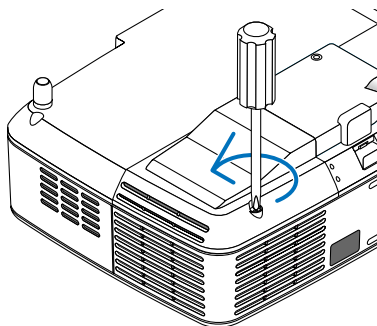
1 本機を裏返しにする。

傷つかないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに置いてください。

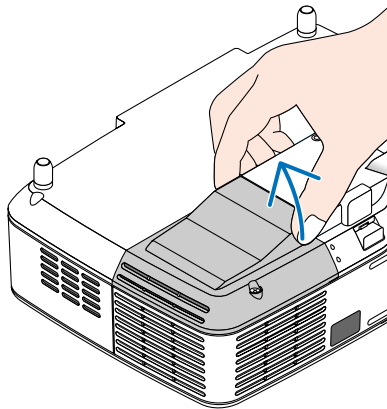


2 ランプカバーを外す。

- 1 ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。

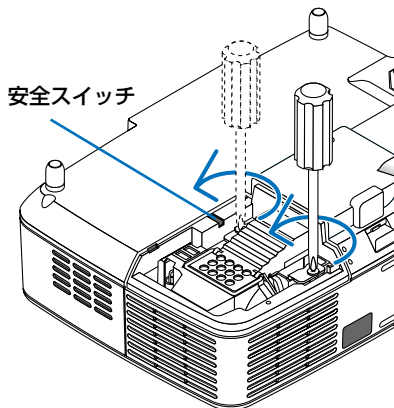


- ② ランプカバーの突起部分を持ち、手前側から持ち上げる。

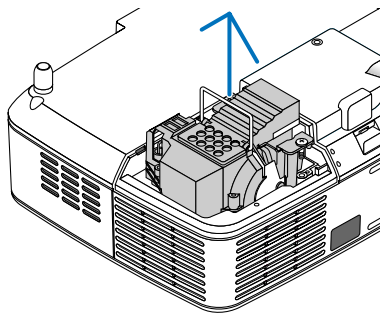


3 ランプハウスを外す。

- ① ランプハウス固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
- ・ネジは外れません。
 - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



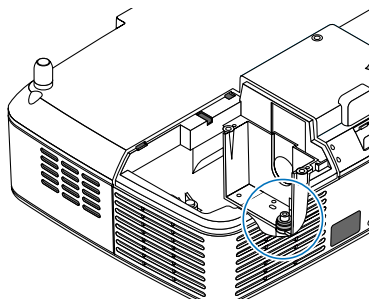
- ② ランプハウスの取っ手を持って引く。



- ③ 本体内部にランプハウスのパッキン(黒色)が付着していないか確認する。

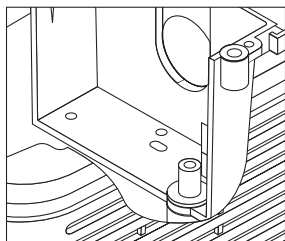
注意

- パッキンが本体内部に付着したまま新しいランプを取り付けしないでください。新しいランプのパッキンと二重になり、過剰な力が加わるため、破損の原因となります。



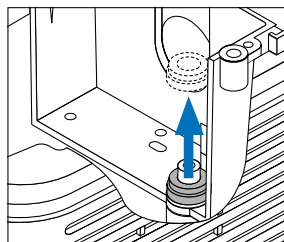
パッキンが付着していない場合

そのまま新しいランプを取り付けてください。



パッキンが付着している場合

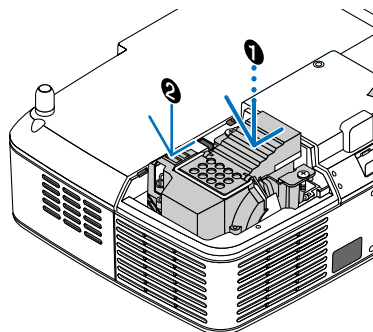
パッキンを取り除いてから、新しいランプを取り付けてください。



※ 一時的にランプを取り外したときに（ランプ交換以外で）、パッキンが本体内部に付着している場合は、パッキンはそのままにし、取り外したランプをもとどおりに取り付けてください。

4 新しいランプハウスを取り付ける。

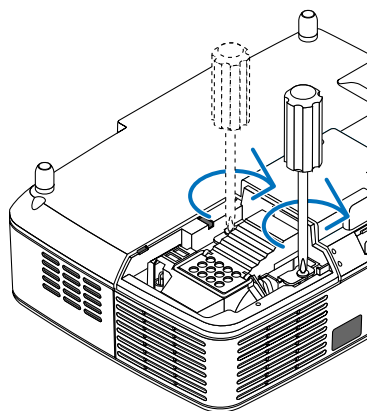
- ① ランプハウスを静かに入れる。
- ② 図の矢印部分を押してランプハウスのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。



- ③ ランプハウス固定のネジ（2箇所）を右に回してしめる。
 - ・ 2箇所のネジは交互に繰り返してしめてください。
 - ・ 2箇所ともネジのゆるみがなくなるまで確実にしめてください。

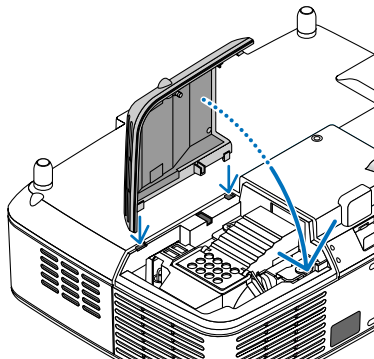
注意

- ランプハウス固定のネジがゆるんでいると、冷却ユニット異常（▶111ページ）になり、本機の電源が入らなくなります。

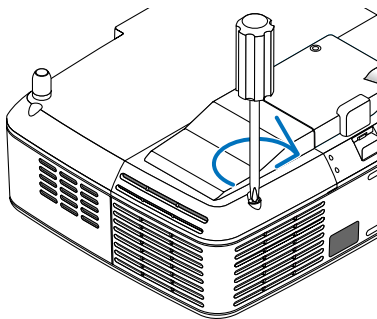


5 ランプカバーを取り付ける。

- 1 ランプカバーのツメを本体のガイドに入れ、ランプカバーをしめる。



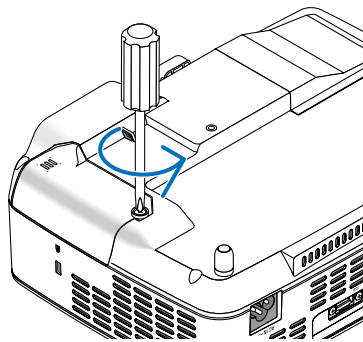
- 2 ランプカバーネジを右に回してしめる。
 - ・ネジは確実にしめてください。



これで、ランプ交換が終わりました。続けて冷却ユニットの交換を行います。

●冷却ユニットの交換

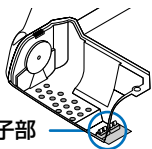
- 6 本機の変え、冷却ユニット部分を手前にする。



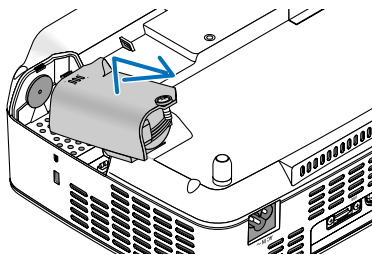
- 7 冷却ユニットを外す。

- 1 冷却ユニットのネジを左に空転するまでゆるめる。
 - ・ネジは外れません。

- 2 冷却ユニットを外す。
 - ・金属端子部にほこり・汚れがある場合は取り除いてください。

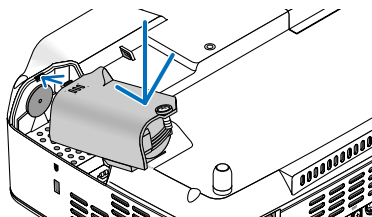


金属端子部



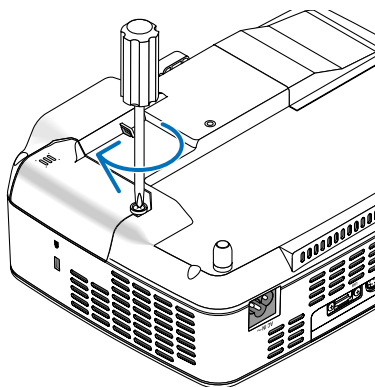
8 新しい冷却ユニットを取り付ける。

- 1 冷却ユニットのツメを本体のガイドに入れしめる。



- 2 冷却ユニットのネジを右に回してしめる。
 - ・ネジは確実にしめてください。

これで、冷却ユニットの交換が終わりました。
続けて次の操作を行ってください。



●ランプ残量とランプ使用時間をクリアする

- 9 本機をもとの状態に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる。

- 10 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を選択してください。

(🔗96ページ)

参考

- ランプ交換時間(目安)* (🔗95ページ)に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(ヘルプ)ボタンを10秒以上押し続けることで、ランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

8. 付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

| このようなとき | 確認してください | 参照ページ |
|------------|--|----------|
| 電源が入らない | 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 | 29 |
| | 本体キーロック中ではありませんか。 本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて利きません、リモコンを使えば操作できます。 | 89 |
| | ランプカバーが正しく取り付けられていますか。 | 103 |
| | ランプハウス固定のネジがゆるんでいませんか。 | 102 |
| | 冷却ユニットが正しく取り付けられていますか。 | 103 |
| | ランプ交換時間(目安)*を超えて使用していませんか。 新しいランプと冷却ユニットに交換してください。交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの(電源)ボタンを10秒以上押し続けてください。 本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。 | 95 |
| | 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。 | 111 |
| 使用中に電源が切れる | 標高約1500m以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。 | 92 |
| | オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを設定していませんか。 | 93 94 |
| | レンズカバーを閉じたままにいませんか。 動作中にレンズカバーを閉じたまま約2時間経過すると、自動的に電源が切れます。 | 17 |

| | | |
|---|--|-------------|
| 映像が出ない | レンズカバーを閉じていませんか。 | 17 |
| | 接続している入力を選んでいますか。 本体またはリモコンの入力信号選択ボタンを再度押してください。 | 33 |
| | 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。 | 25 |
| | 調整→ベーシックのコントラスト、明るさが最小になっていませんか。 | 81 |
| | コンピュータ信号(RGB)の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。 | 114 |
| | コンピュータ信号(RGB)の場合、画面調整を正しく行っていませんか。 | 43 |
| | コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、 (🔍 108ページ) をご覧ください。 | — |
| | 各設定が正しく調整・設定されていますか。 | 76 |
| | それでも解決しない場合は、リセットを行ってください。 | 96 |
| | セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。 | 52 |
| | ランプの消灯直後に電源を入れたときや、ランプの温度が高いときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。 | — |
| 標高約1500m未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。 | 92 | |
| 映像が歪む | 正しく設置されていますか。 | 36 |
| | 台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。 | 41 |
| 映像がぼやける | レンズのフォーカスは合っていますか。 | 38, 40 |
| | 投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。 | 37 |
| | 投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。 | 24, 112 |
| | 投写距離がオートフォーカスの動作範囲を超えていませんか。また、動作条件を満たしていますか。 | 38 |
| | オートフォーカスが有効なときに、本機のフォーカスセンサー部とスクリーンの上に障害物がありますか。障害物がある場合は取り除いてください。または、オンスクリーンメニューでオートフォーカスを「オフ」に設定し、手動でフォーカス調整を行ってください。 | 38 91,40 |
| | レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。 | — |
| 映像がちらつく | オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地(標高約1500m未満)で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。ファンモードで「高地」以外を選択してください。 | 92 |
| 映像が乱れる | 本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。 | — |

| | | |
|--------------------------------|--|-----|
| 映像が突然暗くなった | 室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。室温を下げてください。室温が下がると強制エコモードは解除されます。 | 50 |
| | ファンモードを「自動」にしている場合は室温を約35℃以下に、ファンモードを「高地」にしている場合は室温を約30℃以下にしてください。 | 92 |
| 水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない | コンピュータ信号(RGB)の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。 | 82 |
| | コンピュータ信号(RGB)の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。コンピュータの解像度を確認してください。 | 114 |
| コンピュータ信号(RGB)で文字がちらついたり色がずれている | (自動調整)ボタン(本体は◀ボタン)を押してください。 | 43 |
| | 改善されない場合は、クロック周波数と位相を手動で調整してください。 | 82 |
| リモコンで操作できない | リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。 | 22 |
| | リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 | 22 |
| | リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。 | 22 |
| | リモコンの有効範囲(7m)を超えていませんか。 | 22 |
| | 本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、添付のマウスレシーバをコンピュータに接続してください。 | 54 |
| | コントロールID 機能を設定している場合、リモコンのID番号とプロジェクターのID番号は一致していますか。 | 90 |
| インジケータが点滅する | インジケータ表示一覧をご覧ください。 | 110 |
| スタンバイ時に外部機器から制御できない | オンスクリーンメニューのスタンバイモードの設定が「省電力」になっていないか確認してください。 | 93 |
| 本機の動作が不安定になる | 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続し、電源を入れてください。 | 45 |

コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。

特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(▶ 95ページ)

●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります(ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

参考

- Windowsのノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
 - ・**[Fn]** キーを押したまま(⇐/⇒)などの絵表示や(LCD/VGA)の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

| | |
|----------------------------|--|
| [Fn] + [F2] | MSI |
| [Fn] + [F3] | NEC, Panasonic, SOTEC, MITUBISHI, Everex |
| [Fn] + [F4] | HP, Gateway |
| [Fn] + [F5] | ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC |
| [Fn] + [F7] | SONY, IBM, Lenovo, HITACH |
| [Fn] + [F8] | DELL, ASUS, EPSON, HITACH |
| [Fn] + [F10] | FUJITSU |

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- ・Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- ・それでも投写しない場合は、オンスクリーンメニューが消えている状態で(▶)(入力切替)ボタンを2秒以上押ししてみてください。

●ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピュータの制限(コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない)によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする(液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い)操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ(市販品)を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

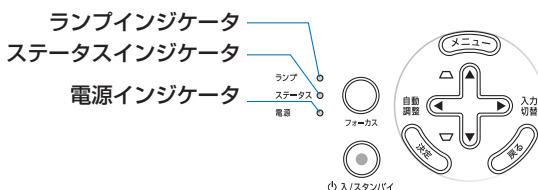
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面でoptionキーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●電源インジケータ

| インジケータ表示 | | 本機の状態 | 行ってください |
|----------|--------------|---------------|--------------|
| 消灯 | | AC 電源供給なし | — |
| 点滅 | 緑色 (短い点滅) | 電源オン準備中 | しばらくお待ちください。 |
| | 緑色 (長い点滅) | オフタイマー (有効状態) | — |
| | オレンジ色 (短い点滅) | 本体冷却中 | しばらくお待ちください。 |
| 点灯 | 緑色 | 電源オン状態 | — |
| | オレンジ色 | スタンバイ状態 | — |

●ステータスインジケータ

| インジケータ表示 | | 本機の状態 | 行ってください |
|----------|-----------|----------------------------------|---|
| 消灯 | | 異常なし、またはスタンバイ状態 (スタンバイモードが「省電力」) | — |
| 点灯 | 緑色 | スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」) | — |
| 点滅 | 赤色 (1回周期) | カバー異常 | ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(▶ 103 ページ) |
| | 赤色 (2回周期) | 温度異常 | 温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。 |
| | 赤色 (3回周期) | 電源異常 | 電源が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 |
| | 赤色 (4回周期) | ファン異常 | 冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 |
| | 赤色 (6回周期) | ランプ不点灯 | ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。 |

次ページに続く

| | | | |
|----|---|--------------------------------|---|
| 点滅 | 赤色 (8回) + 緑色 (1回) の周期 または 赤色 (8回) + 緑色 (2回) の周期 | 冷却ユニット異常 | ランプハウス固定のネジがゆるんでいます。ランプハウス固定のネジをゆるみがなくなるまで確実にしめてください。(🔗 102ページ) または、冷却ユニットの取り付けが不十分です。冷却ユニットをいったん外し、再度確実に取り付けてください。(🔗 103ページ) それでも異常がなおらない場合は冷却ユニットの異常が考えられます。 NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 |
| | 緑色 | ランプ再点灯処理中 | ランプ再点灯処理中(本体冷却中)です。しばらくお待ちください。 |
| 点灯 | オレンジ色 | 本体キーロック中にボタンを押したとき | 本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗 89ページ) |
| | | プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき | コントロールIDを確認してください。(🔗 87, 90ページ) |

●ランプインジケータ

| インジケータ表示 | | 本機の状態 | 行ってください |
|----------|----|------------|---|
| 消灯 | | 異常なし | — |
| 点滅 | 赤色 | ランプ交換猶予時間中 | ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプと冷却ユニットを交換してください。(🔗 99ページ) |
| 点灯 | 赤色 | ランプ使用時間超過 | ランプ使用時間を超過しています。ランプと冷却ユニットを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗 99ページ) |
| | 緑色 | エコモード「オン」時 | — |

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します(2回点滅の繰り返し)。

このようなときは、以下のことを行ってください。

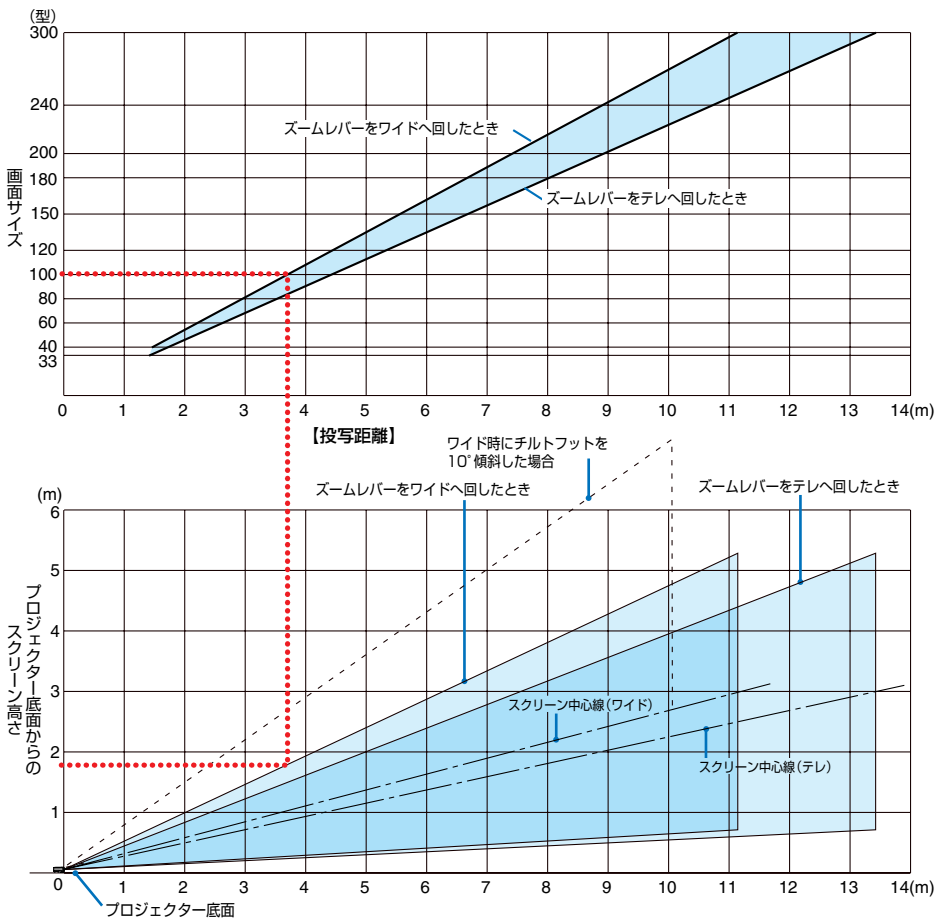
- ・冷却ファンの回転が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 98ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約1時間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのかわ、また、目的の大きさに投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

投写距離

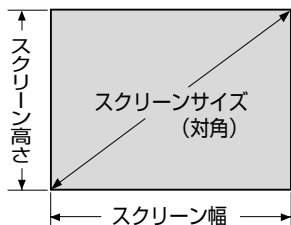
フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前から1.5m (33型の場合)~13.4m (300型の場合)です。ただし40型未満はテレ側のみ対応しています。この範囲で設置してください。



【表の見かた】

100型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.7m付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクター底面からスクリーンの上端までが約1.8m必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約10°上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表



| サイズ (型) | スクリーン幅 (cm) | スクリーンの高さ (cm) |
|---------|-------------|---------------|
| 33 | 67.1 | 50.3 |
| 40 | 81.3 | 61.0 |
| 60 | 121.9 | 91.4 |
| 80 | 162.6 | 122.0 |
| 100 | 203.2 | 152.4 |
| 120 | 243.8 | 182.9 |
| 150 | 304.8 | 228.6 |
| 180 | 365.8 | 274.3 |
| 200 | 406.4 | 304.8 |
| 240 | 487.7 | 365.8 |
| 300 | 609.6 | 457.2 |

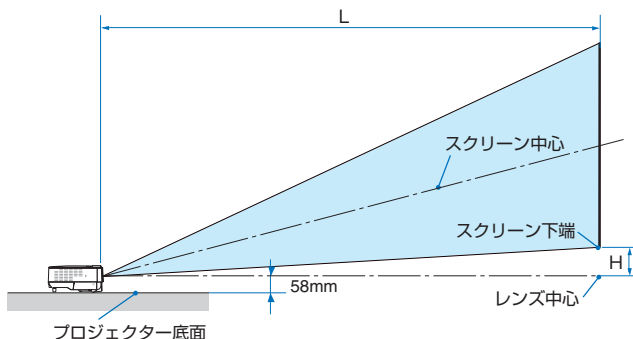
デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。

水平投写位置…… レンズを中心に左右均等

垂直投写位置…… (下表参照)

| スクリーンサイズ (型) | 投写距離 L (m) | | 寸法 H (cm) |
|--------------|------------|-------|-----------|
| | ワイド時 | テレ時 | |
| 33 | — | 1.44 | 7.0 |
| 40 | 1.45 | 1.76 | 8.5 |
| 60 | 2.20 | 2.66 | 12.7 |
| 80 | 2.94 | 3.56 | 16.9 |
| 100 | 3.69 | 4.46 | 21.2 |
| 120 | 4.43 | 5.36 | 25.4 |
| 150 | 5.55 | 6.71 | 31.8 |
| 180 | 6.67 | 8.06 | 38.1 |
| 200 | 7.42 | 8.96 | 42.4 |
| 240 | 8.91 | 10.75 | 50.8 |
| 300 | 11.14 | 13.45 | 63.6 |



参考

- 上記の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

対応解像度一覧

| 機種 | | 解像度 | 走査周波数 | | 対応状況 |
|------------------|----------|-------------|----------|---------|------|
| | | | 水平 (kHz) | 垂直 (Hz) | |
| ビデオ | NTSC | — | 15.73 | 59.94 | ◎ |
| | PAL | — | 15.63 | 50.00 | ◎ |
| | PAL60 | — | 15.73 | 60.00 | ◎ |
| | SECAM | — | 15.63 | 50.00 | ◎ |
| IBM PC/AT 互換機 | | 640 × 480 | 31.47 | 59.94 | ◎ |
| | | 640 × 480 | 31.48 | 59.95 | ◎ |
| | | 640 × 480 | 37.86 | 72.81 | ◎ |
| | | 640 × 480 | 37.50 | 75.00 | ◎ |
| | | 640 × 480 | 43.27 | 85.01 | ◎ |
| | | 800 × 600 | 35.16 | 56.25 | ◎ |
| | | 800 × 600 | 37.88 | 60.32 | ◎ |
| | | 800 × 600 | 46.88 | 75.00 | ◎ |
| | | 800 × 600 | 48.08 | 72.19 | ◎ |
| | | 800 × 600 | 53.67 | 85.06 | ◎ |
| | | 1024 × 768 | 48.36 | 60.00 | ◎ |
| | | 1024 × 768 | 56.48 | 70.07 | ◎ |
| | | 1024 × 768 | 60.02 | 75.03 | ◎ |
| | | 1024 × 768 | 68.68 | 85.00 | ◎ |
| | | 1280 × 768 | 47.78 | 59.87 | ○ |
| | | 1280 × 800 | 49.70 | 59.81 | ○ |
| | | 1280 × 960 | 60.00 | 60.00 | ○ |
| 1280 × 1024 | 63.98 | 60.02 | ○ | | |
| 1400 × 1050 | — | 60.00 | ○ | | |
| 1600 × 1200 * | 75.00 | 60.02 | ○ | | |
| Apple Macintosh® | | 640 × 480 | 35.00 | 66.67 | ◎ |
| | | 832 × 624 | 49.72 | 74.55 | ◎ |
| | | 1024 × 768 | 60.24 | 74.93 | ◎ |
| | | 1280 × 1024 | 69.87 | 65.18 | ○ |
| HDTV | 1080i/50 | 1920 × 1080 | 28.13 | 50.00 | ○ |
| | 1080i/60 | 1920 × 1080 | 33.75 | 60.00 | ○ |
| | 720p/50 | 1280 × 720 | 37.50 | 50.00 | ○ |
| | 720p/60 | 1280 × 720 | 45.00 | 60.00 | ○ |
| SDTV | 480p | — | 31.47 | 59.94 | ◎ |
| | 576p | — | 31.25 | 50.00 | ◎ |
| DVD | YCbCr | — | 15.63 | 50.00 | ◎ |
| | | — | 15.73 | 59.94 | ◎ |

- ・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・コンポジット同期信号、Sync On Green 信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

- ・圧縮表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になったり、色かにじんだりする場合があります。

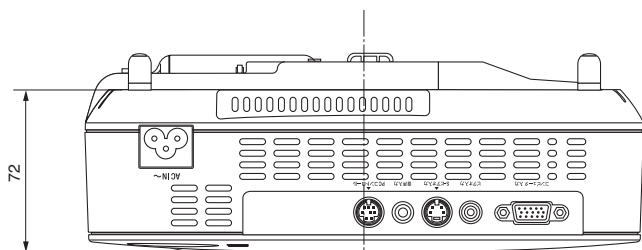
◎：リアル表示
○：圧縮表示により対応

*：UXGA はセパレート信号のみ対応です。

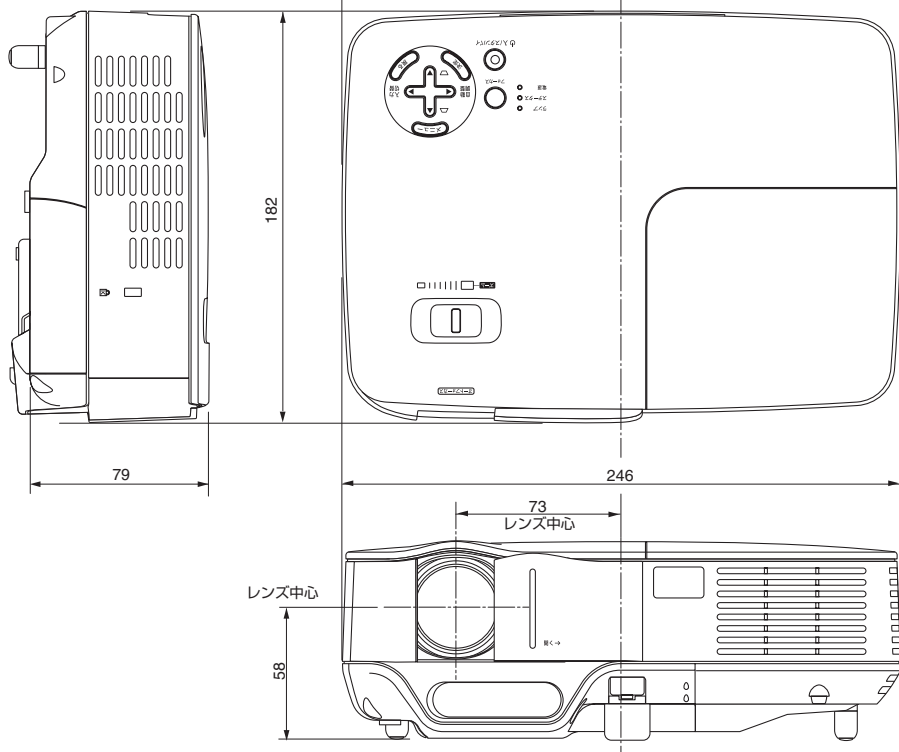
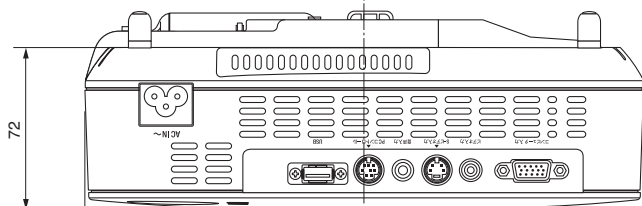
外觀図

単位：mm

※右図は NP63/NP53J
の背面です。



※右図は NP64/NP54J
の背面です。



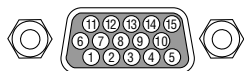
別売品

| 商 品 名 | | 形 名 |
|-------|------------------------|--------|
| ランプ | 交換用ランプ (NP64J/NP63J 用) | NP09LP |
| | 交換用ランプ (NP54J/NP53J 用) | NP08LP |
| 天吊り金具 | 天井用取付けユニット | NP02CM |

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTL レベル

| ピン番号 | コンピュータ信号 (アナログ) | YCbCr 信号 |
|------|---------------------------|----------|
| 1 | 赤 | Cr |
| 2 | 緑またはシンクオングリーン | Y |
| 3 | 青 | Cb |
| 4 | 接 地 | |
| 5 | 接 地 | |
| 6 | 赤 接 地 | Cr 接 地 |
| 7 | 緑 接 地 | Y 接 地 |
| 8 | 青 接 地 | Cb 接 地 |
| 9 | 非接続 | |
| 10 | 同期信号 接 地 | |
| 11 | 非接続 | |
| 12 | Bi-directional DATA (SDA) | |
| 13 | 水平またはコンポジット同期 | |
| 14 | 垂直同期 | |
| 15 | Data Clock | |

仕様

| | | | |
|---------------------|--|--|---------------------------------------|
| 形名 | | NP64J/NP63J/NP54J/NP53J | |
| 方式 | | 単板DLP方式 | |
| 主要部品仕様 | DLPチップ | サイズ 0.55型(アスペクト比 4:3) | |
| | 投影レンズ | 画素数(*1) 786,432画素(1024ドット×768ライン) | |
| | | ズーム マニュアル(1~1.2倍、f=20.4~24.5mm) | |
| | 光源 | フォーカス オートフォーカス(動作範囲: 1.5~5.5m) / 電動フォーカス | |
| | | NP64J/NP63J: 220W ACランプ(ランプエコモード時170W) NP54J/NP53J: 200W ACランプ(ランプエコモード時170W) | |
| 光学装置 | カラーフィルタ回転による色分離 | | |
| 画面サイズ(投写距離) | | 33~300型(1.44m~13.45m) (ただし40型未満はテレのときのみ対応) | |
| 色再現性 | | フルカラー 1,677万色 | |
| 明るさ(*2)(*3) | | NP64J/NP63J: 3000 lm NP54J/NP53J: 2600 lm | |
| コントラスト比(*2)(全白:全黒) | | 1600:1 | |
| 走査周波数 | 水平 | 15~100kHz (コンピュータ信号は24kHz~100kHz) | |
| | 垂直 | 50~120Hz (ただし85Hzを超える信号は、解像度1024×768以下のみ対応) | |
| 調整機能 | | マニュアルズーム、オートフォーカス/電動フォーカス、 入力信号切替(コンピュータ/ビデオ/S-ビデオ)、自動台形補正、 画面位置調整、AVミュート、オンスクリーン表示/選択など | |
| 音声出力 | | 0.3W モノラルスピーカ内蔵 | |
| 最大表示解像度(横×縦) | | 1600×1200 (圧縮表示による対応) | |
| 入力信号 | R,G,B,H,V RGB: 0.7Vp-p / 75Ω 正極性 Y: 1.0Vp-p / 75Ω 正極性 Cb,Cr (Pb, Pr): 0.7Vp-p / 75Ω H/V Sync: 4.0Vp-p / TTL 正極性/負極性 Composite Sync: 4.0Vp-p / TTL 正極性/負極性 Sync on G: 1.0Vp-p / 75Ω (With Sync) 負極性 | | |
| | コンポジットビデオ 1.0Vp-p / 75Ω | | |
| | S-ビデオ | Y: 1.0Vp-p / 75Ω | |
| | | C: 0.286Vp-p / 75Ω | |
| | コンポーネント | Y: 1.0Vp-p / 75Ω (With Sync) | |
| | | Cb,Cr (Pb,Pr): 0.7Vp-p / 75Ω | |
| | | DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i (60Hz) 576i, 576p, 1080i (50Hz) DVD: プロGRESS信号 (50 / 60Hz) | |
| | 音声 0.5Vrms/22kΩ以上 | | |
| | 入出力端子 | コンピュータ | 映像入力 ミニ D-Sub 15ピン×1 |
| | | | 音声入力 ステレオミニジャック×1 (ビデオ、S-ビデオの音声入力と共通) |
| ビデオ | | 映像入力 RCA ×1 | |
| S-ビデオ | | 映像入力 ミニ DIN 4ピン×1 | |
| PCコントロール端子 | | ミニDIN 8ピン×1 | |
| USBポート(NP64J/NP54J) | | タイプA×1 | |
| 水平解像度 | | NTSC: 540TV本 | |
| 使用環境 | | 動作温度: 5~40℃(*4) 動作湿度: 20~80% (ただし結露しないこと) 保存温度: -10~50℃ 保存湿度: 20~80% (ただし結露しないこと) | |
| 電源 | | AC 100V 50/60Hz(*5) | |
| 消費電力 | ノーマル | NP64: 292W、NP63: 287W、NP54: 268W、NP53: 266W | |
| | エコ | NP64: 223W、NP63: 221W、NP54: 224W、NP53: 221W | |
| スタンバイ消費電力 | | 3.18W (省電力時) | |
| 定格入力電流 | | NP64: 3.2A、NP63/NP54: 3.0A、NP53: 2.8A | |
| 外形寸法 | | 246(幅)×79(高)×182(奥行)mm (突起部含まず、レンズカバーオープン時) | |
| 質量 | | 1.7kg | |

次ページに続く

- (* 1) : 有効画素数は 99.99% です。
 - (* 2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
 - (* 3) : エコモードが「オフ」で、プリセットが「高輝度モード」のときの明るさです。
エコモードを「オン」にすると、NP64J/NP63J では明るさが約 75% に低下します。NP54J/NP53J では明るさが約 85% に低下します。
 - (* 4) : 35 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。また、ファンモードを「高地」に設定していると、30 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。
 - (* 5) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。
- USB ポートは USB 規格 Ver2.0 High Speed に準拠。
 - この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他 ()

電源関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが緑色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。<input type="checkbox"/> ランプ固定のネジは確実にしめられている。<input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。<input type="checkbox"/> 電源 (入/スタンバイ) ボタンを約1秒以上押しても電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。<input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。<input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。<input type="checkbox"/> 冷却ユニットは正しく取り付けられている。 |
|--|--|

映像関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。<input type="checkbox"/> ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。 IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます (コンピュータによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。<input type="checkbox"/> コンピュータ信号の場合、水平・垂直は正しく調整されている。<input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。<input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック、ロゴ、表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。 ()<input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。<input type="checkbox"/> コントラスト・明るさを調整してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力に対応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> コンピュータ信号で文字がちらついたり、色がずれている。<input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コントラスト・明るさを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> オートフォーカス設定は「オン」に設定されている。<input type="checkbox"/> フォーカスセンサ部とスクリーン間に障害物はない。<input type="checkbox"/> 投写距離が1.5~5.5m以内である。<input type="checkbox"/> 手動で調整しても合わない。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |
| <h2>その他</h2> <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。<input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。<input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。 本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 本体キーロックは「オフ」に設定されている。<input type="checkbox"/> 本体の (戻る) ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |

海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介

この商品には、NEC ディスプレイソリューションズの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国の NEC ディスプレイソリューションズ指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。

本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話または E メールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙 "Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAX にて送信してください。

各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送期間を除く、実働 10 日以内に修理してお届けいたします。

保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。

料金：12 日間 US\$ 200

料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。

代替機は、実働 3 日以内にお届けいたします。

ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター (📞 124 ページ)にお問い合わせください。

保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、またはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より 14 か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

- 1) 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
- 4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- 5) 高温・多湿の場所、車輛、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
- 6) 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 7) 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
- 8) ランプなどの消耗品、および添付品、別売品が故障および損傷した場合。
- 9) その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。



注意

海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより 100-240V で使用可能です。

使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。

詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2009年12月1日現在のものです。

最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページまたは当社 **ViewLight CLUB ホームページ**

<http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/> をご覧ください。

また、詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター 0120-610-161

(受付 9:00 ~ 18:00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

〔欧州〕 In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.

Telephone: +44 1952 237000

Fax Line: +44 1952 237006

Email Address: AFR@uk.neceur.com

WEB Address: <http://www.neceur.com>

(対応地域) <Regions Covered>

EU: Austria*, Belgium*, Bulgaria*, Czech Republic*, Cyprus*, Denmark*, Estonia*, Finland*, France*, Germany*, Greece*, Hungary*, Ireland*, Italy*, Latvia*, Lithuania*, Luxembourg*, Malta*, The Netherlands*, Poland*, Portugal*, Romania*, Slovakia*, Slovenia*, Spain*, Sweden* and the United Kingdom*

EEA: Norway *, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕 In North America

NEC Display Solutions of America, Inc.

Address: 500 Park Boulevard, Suite 1100 Itasca, Illinois 60143, U.S.A.

Telephone: +1 800 836 0655

Fax Line: +1 800 356 2415

Email Address: vsd.tech-support@necdisplay.com

WEB Address: <http://www.necdisplay.com/>

(対応地域) <Regions Covered>

U.S.A. *, Canada *

〔大洋州〕 In Oceania

AWA Limited.

Address: 151 Arthur Street
Homebush West NSW 2140 Australia

Customer Call Centre

Telephone: 0297647777

Fax Line: 1300772688

Email: commercialsupport@awa.com.au

For Travel Care service, while customer is in Australia, the customer will contact AWA on 1300366144, select Option 4. If you want to book warranty service by email customer goes to: commercialsupport@awa.com.au.

(対応地域) <Regions Covered>

Australia

* : 代替機貸出サービスが受けられます。

Visual Group Ltd.

Address: 28 Walls Road Penrose Auckland New Zealand
Telephone: 095250740
Fax Line: 095809607
Email: sarah.reed@visualgroup.co.nz

(対応地域) <Regions Covered>

New Zealand

〔アジア・中近東〕 In Asia and Middle East**NEC Solutions (China) Co.,Ltd.**

Address: Rm 1903, Shining Building, 35 Xueyuan Rd,
Haidian District Beijing 100083, P.R.C.
Telephone: +8610 82317788
Fax Line: +8610 82331722
Email Address: Lily@necsl.com.cn
Johnson_liu@necsl.com.cn
WEB Address: <http://www.necsl.com.cn>

(対応地域) <Regions Covered>

China

NEC Hong Kong Ltd.

Address: 25/F.,The Metropolis Tower, 10 Metropolis Drive, Hunghom,
Kowloon, Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2795 6618
Email Address: nechksc@nechk.nec.com.hk
esmond_au@nechk.nec.com.hk
WEB Address: <http://www.nec.com.hk>

(対応地域) <Regions Covered>

Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.

Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 8500 1700
Fax Line: +886 2 8500 1420
Email Address: eric@nec.com.tw
WEB Address: <http://www.nec.com.tw>

(対応地域) <Regions Covered>

Taiwan

NEC Asia Pte. Ltd.

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,
Singapore 149598
Telephone: +65 6 273 8333
Fax Line: +65 6 274 2226
Email Address: ncare@rsc.ap.nec.com.sg
WEB Address: <http://www.nec.com.sg/>

(対応地域) <Regions Covered>

Singapore

NEC Corporation of Malaysia Sdn. Bhd.

Address: 33rd Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee,
50250 Kuala Lumpur, Malaysia
Telephone: +6 03 2178 3600 (ISDN)
Fax Line: +6 03 2178 3789
Email Address: necare@nsm.nec.co.jp
WEB Address: <http://www.necmalaysia.com.my/home.html>

(対応地域) <Regions Covered>

Malaysia

Hyosung ITX Co., Ltd.

Address: 1st Fl., Ire B/D. #2, 4Ga, Yangpyeng-Dong,
Youngdeungpo-Gu, Seoul, Korea 150-967

Telephone: +82 2 2163 4193

Fax Line: +82 2 2163 4196

Email Address: moneybear@hyosung.com

(対応地域) <Regions Covered>

South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark,
Bangkapi, Bangkok 10240, Thailand

Telephone: +66 2 375 2425

Fax Line: +66 2 375 2434

Email Address: pattara@lenso.com

WEB Address: <http://www.lenso.com/>

(対応地域) <Regions Covered>

Thailand

e-flex L.L.C.

Address: Al Suwaidi Road, Rashidiya 43500 Dubai
United Arab Emirates

Telephone: +971 4 2861533

Fax Line: +971 4 2861544

Email Address: sc@eflex.ae

(対応地域) <Regions Covered>

United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia

Telephone: +966 2 6828219

Fax Line: +966 2 6830820

Email Address: Mohamed.asif@samirgroup.com

(対応地域) <Regions Covered>

Saudi Arabia

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for US\$ 200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Display Solutions' Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Display Solutions' Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for US\$ 200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Display Solutions' Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Display Solutions' neglect, or fault including the following without limitation:

- 1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
- 2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
- 3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Display Solutions or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
- 4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
- 5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Display Solutions to adjust, modify, repair, install or service the product.
- 6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this "loan" replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is US\$ 200 for 12 calendar days.

If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Display Solutions' Authorized Service Stations.

Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the 'loan' unit.

If you return to their country of origin with the 'loan' unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

| | | |
|---------------------|-----|----|
| AC IN 端子 | 16, | 29 |
| BD アドレス | | 66 |
| Bluetooth | 56, | 69 |
| BrilliantColor | | 80 |
| ID 表示 | | 87 |
| sRGB | | 79 |
| USB デバイスを取り外す(ビューフ) | 65, | 66 |
| USB メモリ | 56, | 59 |
| WXGA モード | | 92 |

五十音

| | | |
|------------------|-----|-----|
| 【ア行】 | | |
| 明るさ | | 81 |
| アスペクト | | 83 |
| 位相 | | 82 |
| 色温度 | | 80 |
| インジケータ表示 | | 110 |
| エコメッセージ | | 87 |
| エコモード | 49, | 86 |
| オートパワーオフ | | 94 |
| オートパワーオン (AC) | | 93 |
| オートパワーオン (COMP.) | | 94 |
| オートフォーカス | 38, | 91 |
| オフタイマー | | 93 |
| オプション (1) | | 91 |
| オプション (2) | | 93 |
| オプションメニュー (ビューフ) | | 65 |
| オンスクリーンメニュー | | 72 |
| オンスクリーンメニュー一覧 | | 76 |
| 温度プロテクタ | | 111 |
| 音量 | 44, | 81 |

【カ行】

| | | |
|-----------|--|-----|
| カーボンメータ | | 50 |
| 開始 (ビューフ) | | 65 |
| 解像度 | | 114 |
| 拡大 | | 48 |
| 画像設定 | | 81 |
| 壁色補正 | | 86 |
| カラー | | 81 |
| カラー方式 | | 92 |
| 間隔 (ビューフ) | | 65 |

| | | |
|-----------------|-----|----|
| 乾電池 (単 4) | 13, | 22 |
| ガンマ補正 | | 80 |
| 吸気口 | | 16 |
| 強制エコモード | | 50 |
| 繰り返し (ビューフ) | | 65 |
| クロック周波数 | | 82 |
| 言語 | | 86 |
| コントラスト | | 81 |
| コントロール ID | | 90 |
| コントロールバー (ビューフ) | | 63 |
| コンピュータ接続ケーブル | 13, | 25 |

【サ行】

| | | |
|----------------|-----|-----|
| サーチの応答 (ビューフ) | | 66 |
| 再生 (ビューフ) | | 65 |
| 再生モード (ビューフ) | | 65 |
| サムネイル画面 (ビューフ) | | 64 |
| サムネイル表示 (ビューフ) | | 65 |
| 参照 | | 80 |
| 色相 | | 81 |
| 自動台形補正 | 39, | 86 |
| 自動調整 | | 43 |
| シャープネス | | 81 |
| 詳細設定 | | 80 |
| 情報 | | 95 |
| 初期入力選択 | | 94 |
| 垂直 | | 82 |
| 水平 | | 82 |
| ズームレバー | 16, | 38 |
| スクリーンサイズ | 24, | 112 |
| スタンバイモード | | 93 |
| ステータスインジケータ | 18, | 110 |
| スピーカ | | 16 |
| スライド画面 (ビューフ) | | 63 |
| 静止画 | | 47 |
| セキュリティ | | 51 |
| セキュリティキーワード | | 51 |
| 設置 | | 88 |
| セットアップ | | 86 |
| 全般 | | 86 |
| 接続端子部 | 16, | 19 |
| 総 CO2 削減量 | | 50 |
| ソフトケース | 13, | 46 |

【タ行】

| | |
|--------------|---------|
| 対応解像度一覧 | 114 |
| 台形補正 | 41, 86 |
| 台形補正保存 | 86 |
| ダイレクトパワーオフ | 15 |
| 調整 | 79 |
| チルトフット | 16, 37 |
| チルトボタン | 16, 37 |
| 通信速度 | 90 |
| デバイス名 (ビューワ) | 66 |
| テレ | 24, 112 |
| テレシネモード | 85 |
| 電源 | 31, 45 |
| 電源インジケータ | 18, 110 |
| 電源コード | 13, 29 |
| 投写角度 | 37 |
| 投写距離 | 24, 112 |
| 投写方法 | 88 |
| 盗難防止用ロック | 16, 17 |

【ナ行】

| | |
|------------|--------|
| 並び順 (ビューワ) | 66 |
| 入力信号 | 33 |
| 入力端子 | 19, 78 |
| 入力端子表示 | 87 |
| ノイズリダクション | 85 |

【ハ行】

| | |
|-------------|--------|
| 排気口 | 16 |
| バスキー (ビューワ) | 66 |
| バックグラウンド | 88 |
| ビーブ音 | 92 |
| ビューワ | 56, 65 |
| 表示位置 | 84 |
| 表示時間 | 87 |
| 表示色選択 | 87 |
| ファンモード | 92 |
| フォーカスセンサ部 | 16 |
| プリセット | 79 |
| ベーシック | 79 |
| 本体キーロック | 89 |
| 本体操作部 | 16, 18 |

【マ行】

| | |
|---------|--------|
| マウス操作 | 55 |
| マウスレシーバ | 13, 54 |
| メニュー設定 | 87 |

【ラ行】

| | |
|-----------|---------|
| ランプインジケータ | 18, 111 |
| ランプカバー | 17, 100 |
| ランプ残量 | 95 |
| ランプ時間クリア | 96 |
| ランプ使用時間 | 95 |
| ランプハウス | 101 |
| リアフット | 17, 37 |
| リセット | 81, 96 |
| リモコン | 13, 20 |
| リモコン受光部 | 16, 22 |
| リモコンの有効範囲 | 22 |
| 冷却ユニット | 17, 103 |
| レンズ | 16, 97 |
| レンズカバー | 16, 17 |

【ワ行】

| | |
|-----|---------|
| ワイド | 24, 112 |
|-----|---------|

●商標について

- ・ ViewLight、ビューライトは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBook、Mac OS Xは、米国Apple Inc.の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows 7、Windows Vista、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ DLP (Digital Light Processing)、BrilliantColorはテキサス・インスツルメンツの商標です。
- ・ Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- ・ 本製品には、キヤノンアイテック株式会社、およびCanon Information Technologies Philippines, Inc.によって開発されたソフトウェア「UBQ-Blue® Bluetooth® protocol stack 2.0+EDR (QD ID : B010586)」が搭載されています。
- ・ 「UBQ-Blue®」はキヤノンアイテック株式会社の登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

落下保証について（保証と修理サービスの追加事項）

本製品には、プロジェクター保証書の保証規定第3項第3号の記載（下記※）にかかわらず、通常の保証に加え、「落下保証」が付いています。「落下保証」の保証内容は以下のとおりです。

プロジェクターの移動時の落下や、プロジェクターに衝撃を与えたことなどに起因する破損に対して、製品本体の無償保証期間中、1回に限り、当社にて無償で修理いたします。ただし、お客様が故意にプロジェクターに衝撃を与えた結果の破損につきましては、「落下保証」の対象外とさせていただきます。

詳しくはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

※プロジェクター保証書の保証規定第3項第3号の記載

3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
(3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。

保証と修理サービス (必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。
- ・本体に付属のランプ：次の(1)と(2)の早いほうまでです。
 - (1) お買い上げから6か月間。
 - (2) ランプ残量(▶95ページ)が50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はNECプロジェクター・カスタマサポートセンター(電話番号：0120-610-161)にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(▶105ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(▶120、121ページ)で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従ってNECプロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

| | | |
|--------|-------------------------|---------|
| 品名 | NEC データプロジェクター | |
| 形名 | NP64J/NP63J/NP54J/NP53J | |
| お買い上げ日 | 年 | 月 日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に | |
| ご住所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください。 | |
| お名前 | | |
| 電話番号 | | |
| 訪問ご希望日 | | |
| べんりメモ | お買い上げ店名 | ☎ () - |

修理料金の仕組み

- ・ 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ・ 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- ・ 引取費用
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料



- より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法 本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/>

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社